

平成 29 年度 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

基本理念

未来を拓く頑張る中小企業を応援することにより、地域の産業経済の発展に寄与します。

行動指針

「顧客視点」に立ち、日本一の優れた支援サービスを提供します。

1. 満足を感じ、イキイキと働ける職場にしよう！

- ・仕事は常に「楽しく」、「明るく」、「前向き」にする。
- ・上下や横の壁を取払い、自由闊達な意見交換が出来る風土を作ろう。

2. 現場主義に徹しよう！

- ・新しい発想、解決のヒントは現場にある。
- ・机上の空論ではなく、実際に「現場」に赴き「現物」を確認し、「現実」を認識した上で問題解決を図る。

3. 全てを「ゼロ」ベースで考えよう！

- ・環境が変化する中で、現状維持は大きな後退。常に改良改善を行いながら前進する。
- ・「前例」、「横並び」、「先送り」主義の硬直的考えを払拭する。

4. 「報告」、「連絡」、「相談」を徹底しよう！

- ・「報連相」は、正確に、且つ迅速に行い、情報を共有しつつ知恵を結集する。
- ・物事は迅速に決め、決定したことは「すぐ」やる、「必ず」やる、「出来るまで」やる。

5. 最小の経費で最大の効果！

- ・「ムリ」、「ムダ」、「ムラ」を撲滅する。
- ・激変する変化に対応した効果的な施策を実施する。

6. コンプライアンスの推進！

- ・常に公的団体の職員としての自覚を持ち、法令・規則を遵守する。
- ・日頃から業務に潜むリスクを点検し、問題発生の予防に努める。

平成 29 年 10 月 1 日
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
理事長 山崎 勝康

目 次

平成 29 年度事業の主な成果指標	P 1
平成 29 年度事業報告書	P 5
1 【知る】情報発信	
1 広報事業	《市委託事業・広域負担金事業・財団自主事業》 P 5
2 【解く】相談・コンシェルジュ	
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	《市委託事業・広域負担金事業》 P 9
3 企業訪問事業	《市委託事業》 P 11
4 研究会推進事業	《事務局受託事業》 P 12
3 【興す】創業・新事業展開支援	
5 創業・新事業展開事業	《財団自主事業》 P 14
6 債務保証事業	《財団自主事業》 P 17
4 【活かす】知財総合支援	
7 知的財産活用推進事業	《市委託事業》 P 19
8 はままつ知財研究会連携事業	《事務局受託事業》 P 22
9 特許等出願支援補助事業	《市委託事業》 P 24
10 特許流通支援事業	《県補助事業》 P 27
11 産学官知財連携推進事業	《市委託事業》 P 28
5 【学ぶ】人材育成支援	
12 新素材・新技術講座	《広域負担金事業》 P 29
13 製造中核人材育成事業	《広域負担金事業》 P 30
14 現場力向上人材育成事業	《広域負担金事業》 P 34
15 自社製品開発事業	《広域負担金事業》 P 36
6 【創る】新事業開発支援	
16 オープンイノベーション浜松創出支援事業	《市委託事業》 P 40
17 新産業創成事業	《市委託事業》 P 44
18 国等の研究開発事業化支援事業	《国補助事業》 P 48
19 競争的資金等獲得支援事業	《広域負担金事業》 P 49
20 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	《財団自主事業》 P 50
21 地域産業活性化支援事業	《財団自主事業》 P 51
7 【拓く】販路開拓支援	
22 ものづくり販路開拓支援事業	《市委託事業》 P 53
23 販路開拓・マッチング支援事業	《財団自主事業》 P 56

- 2 4 海外ビジネス展開支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 《市委託事業》 P 59
- 2 5 地場産業振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 《財団自主事業》 P 62

8 【創る】 フォトンバレーセンター

- 2 6 フォトンバレープロジェクト推進事業
・・・《県・3市（浜松市・磐田市・湖西市）負担金事業、国補助事業》 P 67

平成 29 年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
製品化・事業化件数	35 件	30 件	30 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点（以下、同じ）

◎事業別主な成果指標

1 広報事業

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
ホームページアクセス件数	53,781 件	56,084 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	2,225 件	904 件	2,300 件

2 相談事業

(相談)

相談項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
経営相談件数	834 件	767 件	—
技術相談件数	469 件	494 件	—
知財相談件数	766 件	889 件	—
合計	2,069 件	2,150 件	1,800 件

(企業訪問事業)

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
企業訪問件数	978 件	1,231 件	1,000 件
新規顧客数	326 社	246 社	250 社

(専門家派遣事業)

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
実施企業数 <small>※浜松市委託事業</small>	24 社	25 社	25 社
専門家の総合評価	4.4	4.2	4.5

3 創業・新事業展開事業

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
創業者件数	73 件	83 件	45 件
相談件数	1,023 件	1,081 件	600 件

※成果指標数は、はままつ起業家カフェ対応実績分

4 知的財産活用推進事業

項目	実績		目標 ^{※4}
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
相談対応件数 ^{※3}	745 件	766 件	660 件
企業訪問件数	113 件	129 件	80 件

※3 静岡県発明協会の知財総合支援窓口担当による相談件数を含む

※4 目標件数は、静岡県発明協会が特許庁に届けた件数

5 人材育成事業

(新素材・新技術講座) (製造中核人材育成講座) (現場力向上人材育成講座)

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
新素材・新技術講座受講者数	261 名	253 名	210 名
新素材・新技術講座受講者満足度	99%	93%	90%以上
製造中核人材講座受講者数	29 名	30 名	30 名
製造中核人材講座受講者満足度	100%	97%	90%以上
製造中核人材講座新規受講社数	8 社	15 社	10 社
現場力向上人材育成講座受講者数	492 名	280 名	220 名
現場力向上人材育成講座満足度	98%	97%	90%以上
現場改善実践企業社数 ^{※3}	—	1 社	15 社

※3 中小ものづくり現場改善スクール受講者 20 名に対する指標

(自社製品開発事業)

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	10 件	8 件	10 件
製品化・商品化件数	—	1 件	2 件

6 オープンイノベーション浜松創出支援事業

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
新規プロジェクト立ち上げ件数	—	1 件	1 件以上
共同研究支援補助金採択件数	1 件	4 件	4 件
技術連携マッチング件数	1 件	4 件	5 件

7 国等の研究開発事業化支援事業 (「戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)」)

項目	実績		目標
	平成 28 年度 ^{※1}	平成 29 年度 ^{※2}	平成 29 年度
サポイン提案採択件数	1 件	1 件	1 件

8 ものづくり販路開拓支援事業

地域	項目	実績		目標
		平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
国内	出展社数（報告書受）	31 社	30 社	30 社
	商談成立件数	52 件	90 件	50 件
海外	出展社数（報告書受）	5 社	7 社	4 社
	商談成立件数	5 件	4 件	4 件

9 販路開拓・マッチング支援事業

項目	実績		目標
	平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
①「大手メーカー技術商談会」出展社数	38 件	22 社	40 社
②「大手メーカー技術商談会」商談成立件数	1 件	2 件	5 件
③「浜松地域技術商談会」商談成立件数	4 件	5 件	3 件

※①②は大手メーカー技術商談会（商工会議所連携事業）

10 フォトンバレーセンタープロジェクト推進事業

（支援・相談件数）

支援種別	実績		目標
	平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
参入啓発	—	16 件	10 件
製品開発	—	452 件	230 件
生産性向上	—	49 件	30 件
販路開拓	—	278 件	160 件
海外展開	—	79 件	60 件
人材育成	—	17 件	10 件
その他	—	92 件	50 件
合計	—	983 件	550 件

（人材育成事業）

項目	実績		目標
	平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 湖西	—	45 名	35 名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 浜松	—	35 名	35 名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 磐田	—	39 名	35 名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 袋井	—	21 名	35 名
IoT と LoRaWAN を学ぶビジネス セミナー	—	37 名	35 名
ものづくり企業向け 即！実践できる IoT 活用セミナー	—	75 名	80 名

第1回光を利用したものづくりに関するセミナー	—	96名	60名
第2回光を利用したものづくりに関するセミナー	—	111名	60名
ビジネスプロデュース力養成ワークショップ・キックオフセミナー	—	129名	100名
ビジネスプロデュース力養成ワークショップ・ワークショップ	—	15名	20名
合計	—	603名	495名

平成 29 年度事業報告書

※金額は H29 年度決算額、() 内は H29 年度最終予算額、<>内は財源

1【知る】情報発信

1 広報事業

決算額 2,147,409 円 (予算額 2,214 千円) <浜松市委託>
決算額 555,740 円 (予算額 1,100 千円) <財団自主>
決算額 297,949 円 (予算額 805 千円) <県補助・8 市町負担金>

【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市町などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに地域企業へ提供することで、既存産業の高度化・高付加価値化を図り、新成長分野参入に向けた支援を実施する。

また、浜松市より認定を受けた「浜松ものづくりマイスター」の広報を通じて、技能・技術の維持継承と次世代のものづくり産業を担う人材の確保・育成を図る。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信した。紙媒体ツールとしては財団紹介パンフレットの更新及び支援施策ガイドなどを作成して情報発信の強化を図った。

ア <広域>メールマガジンの配信

配信日：毎月第 1・第 3 水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニューなど

イ 財団紹介パンフレットの発行（年度更新）

発行日：平成 29 年 7 月

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、4 頁

内 容：財団の業務全般、概要、組織図など

ウ 支援施策ガイドの発行

<浜松版>

発行日：平成 29 年 4 月 5 日（水）

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、28 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

増 刷：1,500 部（7 月）

<県西部広域版>

発行日：平成 29 年 4 月 5 日（水）

部 数：2,000 部

規 格：A4 サイズ、16 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部7市町など（浜松市除く）の支援施策及び
成果事例

増 刷：1,000部（7月）

エ 企業訪問用チラシの作成

発行日：平成29年8月31日（木）

部 数：1,000部

規 格：A4サイズ、2頁

内 容：各種相談対応、財団の支援内容、財団の特長、企業間マッチングなど

オ 浜松商工会議所 NEWing 折込み

発行日：平成29年4月1日（土）

部 数：15,000部

規 格：A4サイズ、2頁

内 容：財団支援メニュー紹介など

カ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、その結果に基づきホームページの掲載内容の充実やメルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を通じて、迅速で親切な情報提供に取り組んだ。

※改修内容：お問い合わせメールのデータベース化

キ パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

<財団施策>

発行日：平成29年4月18日（火）

媒 体：静岡新聞・中日新聞（半5段）

内 容：財団施策（補助金制度）紹介

<地域企業>

プレスリリース支援：3社

ク ビジネスマッチングフェアへの出展

開催日：平成29年7月19日（水）・20日（木）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：浜松市新産業創出事業費補助金の成果物、財団事業紹介など

(2) <広域>企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（帝国データバンクの企業情報と当財団コーディネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などを推進した。

また、企業アンケート調査を実施し、支援策のブラッシュアップにつなげるとともに、収集した情報のデータベース化に取り組んだ。

(3) <広域>中小企業人材獲得支援事業

開催日：平成30年2月8日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／新外国人技能実習制度の概要について

講師／（公財）国際研修協力機構 名古屋駐在事務局長 小野 努 氏

演題／技能実習生受入れのための組合設立について

講師／静岡県中小企業団体中央会

西部事務所 課長代理 三宅 大介 氏

演題／技能実習生受入れ企業による体験談

講師／①やまと興業(株) (浜松市浜北区)

営業部労務課長 土戸 淳也 氏

監理団体 浜北機械金属工業協同組合

専務理事・事務局長 西村 功 氏

②(株)いなさ (浜松市西区) 代表取締役社長 稲垣 太士 氏

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：52 社 71 名 (定員：50 名、申込 91 名)

[県西部地域] 企業 43 社 57 名、行政・産業支援機関 2 機関 4 名

[県西部地域外] 企業 9 社 14 名、行政・産業支援機関 2 機関 3 名

(4) 浜松ものづくりマイスター推進事業

浜松市から認定された「浜松ものづくりマイスター」の卓越した技術・技能の伝承を促すため、ものづくりマイスターによる技術相談をはじめ、技術を広く広報した。

- ①ものづくりマイスターによる技術相談 (随時対応)
- ②ものづくりマイスターの技術・技能の伝承を促す広報
 - ・海外視察の受け入れ先として紹介
 - ・職業訓練学校の講師として紹介

(5) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の 7 つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局を担い、毎月定例のワーキング会議において中小企業支援等の情報共有や事業連携を推進した。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構関東本部浜松イノベーションキューブ
(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
ホームページアクセス件数	53,781 件	56,084 件	50,000 件
メールマガジン配信登録件数	2,225 件	904 件	2,300 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度の「支援施策ガイド」は、浜松版・県西部広域版の 2 種類作成し、地域企業に対して財団の支援メニューを中心に広報活動を実施した。今年度から新規事業として展開している広域連携推進事業（支援地域を県西部エリアに拡大）やフォトンバレープロジェクト推進事業のほか、地域支援機関の情報をさらに充実させ、情報発信した。さらに、平成 29 年 8 月には、財団の支援が一目でわかる広報ツール（チラシ）を新たに作成し、企業訪問で活用した。

以上のような、財団事業の情報発信の強化により、人材育成講座への応募が軒並み順調な結果であり、地域企業等のニーズに基づく企業間マッチング件数も増えた。

平成 30 年度は、HP や企業情報システムを最大限有効活用し、地域の産業支援機関としての存在感や求心力を高めた情報発信を目指していく。

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 3,777,777 円（予算額 4,300 千円）＜浜松市委託＞
 決算額 934,986 円（予算額 2,900 千円）＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合などが抱える経営、技術、人材、情報、知財等の種々の問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより、中小企業者などの成長及び発展を促進する。

【実施内容】

種々の問題を抱える中小企業者などに対して、当財団のコーディネーターが相談に応じた。また、専門的知識と実務経験を要する相談に対しては、相談内容やニーズに即した有資格者などを専門家アドバイザーとして派遣した。

(1) 各種相談

・CD 相談件数

項目	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	対前年比
経営相談	834 件	767 件	92.0%
技術相談	469 件	494 件	105.3%
知財相談	766 件	889 件	116.1%
相談総件数	2,069 件	2,150 件	103.9%

・CD 活動内容件数

項目	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	対前年比
広報	134 件	439 件	327.6%
創業・起業	4 件	5 件	125.0%
知的財産（技術移転）	9 件	11 件	122.2%
知的財産（特許）	362 件	398 件	109.9%
知的財産（実用新案）	25 件	68 件	272.0%
知的財産（意匠）	31 件	57 件	183.9%
知的財産（商標）	268 件	240 件	89.6%
人材育成	3 件	42 件	1400.0%
研究開発・新事業展開	683 件	512 件	75.0%
販路開拓	278 件	253 件	91.0%
専門家派遣	118 件	209 件	177.1%
研究会推進	43 件	14 件	32.6%
その他	1,023 件	791 件	77.3%
内部業務・調整	125 件	20 件	16.0%
活動総件数	3,106 件	3,059 件	98.5%

(2) 専門家派遣事業（浜松市委託事業）

分野	平成 28 年度※1		平成 29 年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経営	19 社	86 回	24 社	101 回
技術	5 社	20 回	1 社	5 回
知財	0 社	0 回	0 社	0 回
合計	24 社	106 回	25 社	106 回

・＜広域＞県西部市町ごとの専門家派遣

広域行政	派遣企業数	派遣回数	分野
浜松市	0 社	0 回	—
磐田市	1 社	5 回	経営
掛川市	0 社	0 回	—
袋井市	1 社	1 回	技術
湖西市	3 社	10 回	経営×3 社
御前崎市	1 社	5 回	経営
菊川市	1 社	5 回	経営
森町	0 社	0 回	—
人材育成事業	1 社	5 回	経営
合計	8 社	31 回	

【成果指標】

項目（5段階）	実績（平均値）		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
企業数（報告書受）	24 社	25 社	25 社
①専門家の助言内容	4.4	4.3	4.5
②専門家の姿勢	4.7	4.5	4.5
③専門家とのマッチング	4.2	4.0	4.5
④専門家の助言のわかりやすさ	4.5	4.2	4.5
⑤専門家の助言の進め方	4.2	4.3	4.5
⑥専門家の総合評価	4.4	4.2	4.5

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

※上記成果指標は、浜松市委託事業分の成果

【年度総括】

相談事業によって地域の市場動向や中小企業などが抱える課題等を常に最新の状態で把握することができ、それらの情報を活かしながら、地域企業の課題解決のために財団のコーディネーターが日々活動している。平成 29 年度上半期の相談内容としては、経営相談では「販路開拓」「販売促進」「人材育成」、知財相談では「特許」「商標」、技術相談では新事業展開に伴う「研究開発」に関する相談が多く、平成 28 年度と比べ新しい取り組み及びそれに伴う販路開拓に臨む企業が増えている。また、専門家派遣事業では、制度の更新に伴う規格認証（ISO2015 版の認証更新）に関する専門家相談が多かった。

平成 30 年度も企業訪問事業と相談業務の中核を担う専門家派遣事業を連動して、財団のコーディネーターが専門家派遣の必要性を見極めながら有効活用し、地域の中小企業の経営改善から新事業展開や販路開拓による出口戦略までを見据えた総合的な

支援を引き続き推進して行く。

3 企業訪問事業

決算額 898,761 円（予算額 1,450 千円）〈浜松市委託〉

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等が抱える経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、積極的できめ細かな企業訪問を通じて企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援および地域企業情報の発信を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【実施内容】

専ら企業訪問を企画して先導するプロパースタッフを選任し、浜松地域の中小企業者などに対して、財団コーディネーター等を中心としたプロジェクトチームによるきめ細かい企業訪問（御用聞き）を実施した。

訪問を通じて、企業が抱える課題の把握と解決に取り組むとともに、支援ニーズの聞き取りを行い、地域産業の現状を見える化し、施策立案につなげた。

企業訪問の手法としては、初回は財団コーディネーターを中心とした単独での訪問による御用聞きを実施し、訪問企業の状況に応じてコーディネーターの目利きにより地域の産業支援機関と連携したチームにて再訪問した。また、飛び込み営業による顧客開拓及び産業支援機関・金融機関への巡回を通じた情報共有や連携支援に努めた。

また、訪問先は今後の地域産業を牽引する中堅企業をはじめ、成長分野に挑戦している企業や新事業展開に取り組む企業などをターゲットとし、隠れた実力企業の掘り起こしや新規顧客の開拓を狙った。

(1) 「浜松市新産業創出事業費補助金」交付企業に対するアドバイス

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長6分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ）について新技術・新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済をけん引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。

当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体のフォロー体制で支援を行った。

交付決定社数：28社（139,586千円）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
企業訪問件数	978件	1,231件	1,000件
新規顧客数	326社	246社	250社

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

【年度総括】

浜松地域の中小企業の実態把握及び財団 PR を目的に、財団コーディネーター及びプロパースタッフによる企業訪問事業を実施し、平成 29 年度は 1,231 件（広域市町 176 件）の企業訪問を行った。また、財団支援メニューを活用した新規企業も顧客に加わり、少しずつではあるが、広域市町から財団事業への参加企業も増えてきた。

また、平成 29 年度はマッチング支援を注力して企業訪問を実施するなかで、マッチング件数は 184 件と大きく伸びた。

平成 30 年度も企業訪問を積極的に実施することで、地域企業のニーズやシーズを把握し、浜松地域の製造業者の現状や特徴をデータベース化するとともに、地域企業にとって新たな販路開拓が重要課題と位置づけ、企業間マッチング支援や地域企業にとって役立つ新たな支援メニューの開発につなげていく。

4 研究会推進事業

決算額 — 千円（予算額 — 千円）＜事務局受託＞
※研究会費の 2 割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、セミナー、講座等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓などの研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の 7 つの研究会において、財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ（会員数：33 社）

<総会>

開催日：平成 29 年 4 月 11 日（火）

会 場：グランドホテル浜松

出席者：会員 29 社

<事業内容>

講演会：2 回（うち公開 1 回）

視察会：1 回

イ 浜松技術交流プラザ 82（会員数：17 社）

<総会>

開催日：平成 29 年 4 月 18 日（火）

会 場：榎呉竹荘

出席者：会員 14 社

<事業内容>

講演会：3 回（うち公開 3 回）

視察会：1 回

ウ 都田アソシエイツ（会員数：54 社）

<総会>

開催日：平成 29 年 7 月 7 日（金）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

出席者：会員 25 社

<事業内容>

講演会：2 回（うち公開 2 回）

視察会：4 回

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：17 社）

<総会>

開催日：平成 29 年 6 月 23 日（金）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員 20 社

<事業内容>

講演会：3 回（うち公開 3 回）

視察会：1 回

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：29 社）

<総会>

開催日：平成 29 年 5 月 25 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

出席者：会員 14 社・19 名

<事業内容>

講演会：3 回（うち公開 3 回）

視察会：4 回（うち海外 1 回）

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人 43 社、個人 23 名）

<総会>

開催日：平成 29 年 5 月 24 日（水）

会 場：㈱呉竹荘

出席者：会員 27 社・33 名

<事業内容>

講演会：2 回（うち公開 2 回）

視察会：5 回（うち海外 1 回）

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人 23 社、個人 2 名、学校 3 校）

<総会>

開催日：平成 29 年 5 月 18 日（木）

会 場：オークラアクトシティ浜松

出席者：会員 19 社・42 名

<事業内容>

講演会：4 回

【年度総括】

平成 29 年度は、地域企業受託事業である 7 つの研究会を 4 月からスタートさせ、平成 29 年度総会を 7 研究会毎に開催し、平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画を会員企業に報告した。また、各研究会の事業方針及び事業計画に沿った事業（講演会・視察会など）の企画や運営サポートを実施した。

平成 30 年度も年度当初に開催される各研究会総会をスムーズに運営するとともに、総会において発表される事業計画を中心に各種事業を推進して行く。

3 【興す】 創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開事業

決算額 － 千円（予算額 － 千円）＜自主財源＞

【目的】

浜松地域の基幹産業であるものづくり産業のみならず、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携をし、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【実施内容】

浜松市における創業・新事業展開支援の拠点として、ワンストップ窓口“はままつ起業家カフェ”（創業・新事業展開支援総合窓口）を商工会議所会館 1 階に設置し、当財団から専任の創業支援コーディネーターを 3 名配置。起業・販路開拓・資金調達などの知識に長けている専任コーディネーターを中心に、起業・新事業展開を図ろうとする個人・ベンチャー企業などに対して各種相談に応じた。

また、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）の創業支援に関する取り組みを連動させ、地域一丸となり、起業家及びベンチャー企業のためのセミナーや講座などを開催し、起業家の発掘からベンチャー企業の成長支援まで幅広くサポートを実施した。

(1) 相談事業

相談者数：840 名（実数） ※平成 28 年度実績：620 名

相談件数：1,081 件（延べ数）

新規創業者数：83 名（男性 61 名、女性 22 名） ※平成 28 年度実績：73 名

※製造業 12 名、建設業 6 名、サービス業 21 名、飲食業 9 名、医療・福祉業 10 名、情報通信業 4 名、小売業 14 名、教育・学習支援 5 名、農林漁業 0 名、不動産業 2 名

特定創業支援事業申請：57 名 ※平成 28 年度実績：50 名

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（予算 3,000 千円）

目 的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：平成 29 年 4 月 3 日（月）～平成 30 年 3 月 30 日（金） ※随時

補助率：1/2 以内

補助額：上限 1,000 千円

対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

申請件数：3 件

採択件数：3 件

交付決定額：3,000,000 円（3 件）

交付確定額：3,000,000 円（3 件）

イ 会社設立支援補助金（予算 2,000 千円）

目 的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：会社設立登記完了後 60 日以内か平成 30 年 3 月 30 日（金）のど
ちらか早い日まで

補助率：1/2 以内

補助額：上限 100 千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する
手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：23 件

採択件数：23 件

交付決定額：2,000,000 円（23 件）

交付確定額：2,000,000 円（23 件）

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：平成 29 年 7 月 9 日（日）

会場：グランドホテル浜松

講師：特定非営利活動法人 NPO サプライズ（伊豆市）

代表理事 飯倉 清太 氏

（株）エージェンシーズギタ（浜松市東区） 代表取締役 杉田 策弘 氏

リンクウィズ（株）（浜松市中区） 代表取締役 吹野 豪 氏

内容：①講演／ユニークなビジネスモデルを生み出そう！

（基調講演＋先輩起業家の体験談）

②起業家交流会

受講料：無料

参加者：47 名（定員：60 名）

(4) 起業サロン

開催日：平成 29 年 8 月 29 日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：（株）ケイ・テック（浜松市南区）

コンサルタント兼設計士 金原 圭吾 氏

内容：建築業界の先輩起業家に聴く！

※おみやげ講座／資金調達について（日本政策金融公庫）

受講料：無料

参加者：10 名（定員：20 名）

開催日：平成 29 年 11 月 7 日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：（株）ビューティスマイル（浜松市南区） 代表取締役 高橋 繁世 氏

内容：①講演／創業した先輩から学ぼう！

エステ・ネイル業界の先輩起業家に聴く！

②起業家交流会

受講料：無料

参加者 22 名（定員：20 名）

(5) 起業実践サロン

開催日：平成 30 年 1 月 16 日（火）～平成 30 年 3 月 6 日（火）

会場：はままつ起業家カフェ

講師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）

村木 則予 氏、杉本 光生 氏、荒井 豊 氏

内 容：ビジネスプラン作成講座（全7回講座）

受講料：無料

参加者：13名（定員：10名）

(6) 特別講座

開催日：平成29年10月24日（火）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：(株)こころ（浜松市中区） 代表取締役社長 渡邊 一博 氏
 (有)ひぐち商会（浜松市中区） 専務取締役 山本 賢 氏

内 容：飲食店の始め方

受講料：無料

参加者：25名（定員：20名）

開催日：平成29年10月7日（土）～12月2日（土）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：光産業創成大学院大学（浜松市西区） 副学長
 (株)TAK システムイニシアティブ（浜松市浜北区） 瀧口 義浩 氏
 光産業創成大学院大学 教授 増田 靖 氏
 光産業創成大学院大学 教授 坪井 明彦 氏
 製造業起業家

内 容：ものづくり・ITで起業（全5回講座）

共 催：光産業創成大学院大学

受講料：無料

参加者：8名（定員：15名）

(7) 起業に役立つミニ講座

開催日：平成29年9月6日（水）

会 場：はままつ起業家カフェ

講 師：(株)桜花不動産（浜松市西区） 代表 吉田 雅信 氏

内 容：講演／事業がうまくいく店舗物件の見つけ方

受講料：無料

参加者：12名（定員20名）

(8) 起業家交流会 ベンチャーミーティング

開催日：平成29年7月25日（火）

会 場：コミュニティスペース Any

講 師：先輩起業家

内 容：①起業家によるプレゼンテーション
 ②起業家交流会

参加料：500円

参加者：32名（定員：20名）

開催日：平成29年11月28日（火）

会 場：コミュニティスペース Any

講 師：先輩起業家

内 容：①起業家によるプレゼンテーション
 ②起業家交流会

参加料：500円

参加者：46名（定員：30名）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
創業者件数	73件	83件	45件
相談件数	1,023件	1,081件	600件
セミナー参加人数	43名	47名	一名
サロン参加人数 ※3	68名	53名	一名

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

※3：平成28年度6回開催、平成29年度4回開催

【年度総括】

平成29年度についても、浜松地域の創業・新事業展開のワンストップ窓口として浜松市・浜松商工会議所と協同で開設した「はままつ起業家カフェ」と連携しながら浜松地域の創業希望者のサポートを実施した。相談者数は840名（平成28年度620名）、創業者は83名（平成28年度73名）と昨年度に比べ大きく伸びた。以上のことから、はままつ起業家カフェが本地域に認知されてきたと考察する。また、ものづくり企業のための「ものづくり創業支援補助金」や「会社設立支援補助金」を新たに創設し、浜松地域における創業しやすい環境づくりも併せて行ってきた。

平成30年度からは、昨今の中小企業の課題の一つである事業承継問題を改善すべく、はままつ起業家カフェ内に事業承継相談窓口を新たに設け、専任のコーディネーターによる支援体制で地域中小企業の事業承継問題解決に取り組んでいく。

6 債務保証事業

決算額 632 円（予算額 1,900 千円）＜財団自主＞

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【実施内容】

新技術・新製品の開発に際し、中小企業が融資銀行から借り入れた研究開発資金に対して、債務保証（保証期間8年以内、保証限度額最大3千万円、無担保）を行った。

(1) 債務保証制度内容

保証限度額：一企業 30,000 千円以内

利率：年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）

保証期間：8 年以内

保証料率：0.9%保証限度額

(2) 新規債務保証

平成29年度：新規債務保証0件

(3) 債務保証残高

平成29年度：債務保証残高0円

(4) 求償権の回収

対象企業 3 社のうち 2 社返済中（年間回収額 300 千円）

【成果指標】

（単位:千円）

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
求償権の回収額	300 千円 (600 千円)	300 千円 (600 千円)	300 千円 (600 千円)

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

※（）内は日本立地センター分を含めた回収額

【年度総括】

平成 29 年度においても、求償権回収 3 社のうち 2 社は毎月返済が継続中であり、返済が滞ることがないように入金状況を随時確認している状況である。

なお、求償権として資産計上（同額負債計上）している残りの 1 社については、最終返済日から 5 年が経過し、時効期日を迎え、相手方の意思による返済を待つのみ状態である。つまり回収不能といえるため、求償権の除却処理を平成 29 年度決算で行う。

4 【活かす】知財総合支援

7 知的財産活用推進事業

決算額 660,579 円（予算額 748 千円）〈浜松市委託〉

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権は重要なものであり、企業経営における知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するため、特許・商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談に応じるとともに、中小企業の出願に対する資金面での支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。これらの地域中小企業に対する知財支援によって、地域企業の知財経営を実現して浜松地域の産業の発展に貢献する。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、企業の経営、事業に貢献すべく、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化の両面から適切な知財支援を行った。支援においては、当財団知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士やデザイン、ブランド等の専門家を企業に派遣）を活用するとともに、当財団技術、経営コーディネーターとも連携して行った。

また、これまで知財相談のなかった企業であっても、潜在的に知財問題を抱えているケースもあり、地域の金融機関や商工会議所、商工会等とも連携して掘り起こしに努めた（新規の知財相談企業数を増やす）。さらに、知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を実施した。

(2) 知財講演会・講習会の開催

ア 知財関連法、知財関連判例、企業の知財戦略・知財活用などに関する以下の講演会・講習会を開催した。

- ・特許庁、（独）工業所有権情報・研修館、関東経済産業局との共催事業
講演会①

開催日：平成 29 年 9 月 14 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：特許庁 産業財産権専門官 小泉 陽香 氏

内 容：初心者向け知的財産権制度説明会

受講料：無料

参加者：65 名（定員：100 名）

- ・浜松市、関東経済産業局、特許庁との共催事業

※実施機関：（一社）発明推進協会

講演会②

開催日：平成 29 年 12 月 25 日（月）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：中小企業知的財産戦略研究所 所長 生島 博 氏

内 容：知財構築と活用戦略の立て方

受講料：無料

参加者：50 名（定員：40 名）

講演会③

開催日：平成 30 年 2 月 22 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：本田技研工業(株)知的財産・標準化統括部長 別所 弘和 氏

内 容：Honda の知的財産戦略

～グローバルに事業を発展させる知的財産の活用～

受講料：無料

参加者：75 名（定員：40 名）

・文化庁との協力事業

著作権セミナー

開催日：平成 29 年 11 月 24 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：第一部 文化庁講師

第二部 さくら国際特許法律事務所

弁護士・弁理士 三木 浩太郎 氏

内 容：第一部 著作権法の基礎講座

第二部 日常生活に関わる著作権・企業活動に関わる著作権

受講料：無料

参加者：62 名（定員：70 名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会（全 6 回コース）を開催した。

・初心者向け知財基礎講習会 ※はままつ知財研究会との共催事業

開催日：平成 29 年 7 月～平成 30 年 1 月（全 6 回）

会 場：浜松労政会館、ポリテクカレッジ浜松

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

内 容：下記のとおり

受講料：はままつ知財研究会会員／無料

非会員／市内 1,000 円、市外 2,000 円

参加者：23 名（定員：20 名）

（講座内容）

開催日	内 容	会 場
7 月 28 日（金）	①知的財産権制度の概要 ②特許制度と特許法の概要	浜松労政会館
8 月 25 日（金）	②特許出願から権利化の流れ ③特許権の事例紹介	浜松労政会館
9 月 29 日（金）	④特許権の権利範囲と権利解釈 ⑤特許権の利用関係	浜松労政会館
10 月 27 日（金）	⑥意匠制度、商標制度の概要 ⑦特許情報調査と特許情報の活用	ポリテクカレッジ浜松
11 月 29 日（水）	⑧企業活動（研究開発活動）と知的財産権について	浜松労政会館
1 月 26 日（金）	⑨不正競争防止法 ⑩知的財産関連契約 ⑪知財戦略	浜松労政会館

ウ 出前知財講習会

知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催した。

①開催日：平成 29 年 8 月 23 日（水）

会 場：サクラ工業㈱（浜松市東区）

内 容：知的財産権制度、特許制度の概要、特許情報の検索調査実習

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

静岡県発明協会知財総合窓口支援担当 近藤 達憲

参加者：18 名

②開催日：平成 29 年 12 月 12 日（火）

会 場：浜松市役所 第 4 委員会室（8 階）

内 容：知的財産権制度の概要、展示会出展に伴う知財面からの注意点

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：10 名

※浜松市産業振興課からの要請により、海外展示会出展企業を対象に実施

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
①相談対応件数	745 件	766 件	660 件
②企業訪問件数	113 件	129 件	80 件
③専門家派遣件数	69 件	71 件	50 件
④出願支援件数	特許	11 件	11 件
	実用新案	1 件	4 件
	意匠	4 件	4 件
	商標	30 件	24 件
⑤講演会・講習会開催回数	13 回	12 回	10 回以上
⑥参加者満足度	95%	93%	90%以上

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※目標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

【年度総括】

平成 29 年度の相談対応 766 件は、平成 28 年度に対して 3%ほど増加した。このうち、新規相談者からの相談件数が 128 件（17%）あり、商工会議所、商工会、金融機関からの支援要請や紹介が一因となっている。企業自身はもとより、これら地域支援機関等の知財意識、関心も高くなってきているものと思われる。

また、相談の内容として、代理人（弁理士）を使わず、本人による特許、意匠、商標等の直接出願や出願後の審査段階での相談案件もあり、このような案件に対しては弁理士法違反とならないよう注意しつつ、適切な対応に努めてきた。また、他社知的財産権対策、自社知的財産権の権利行使に関する相談や秘密保持契約、共同開発契約、取引契約等の契約問題に関する相談などの経営・事業に直結するような重要な案件も増えており、必要に応じて弁理士等の専門家派遣制度を活用しながら慎重かつ適切な対応に努めてきた。

さらに、最近では、企業の知財管理、営業秘密管理等の管理面の相談や知財人材の育成等に関する相談も増えてきており、企業の知財活動全般にわたる支援が求められるようになってきている。

知財講演会については、浜松市と連携して特許庁事業の「知的財産権制度説明会」、
「平成 29 年度戦略的知財マネジメント促進事業・知的財産セミナー」および文化庁
事業の「著作権セミナー」を開催した。これらのセミナーは当方から提案したテーマ、
内容で開催することができた。

「初心者向け知財基礎講習会」については、平成 29 年度で 5 回目となるが、参加
募集開始前から問合せを受けるなど、定員数を超える参加者となり、知財人材の育成
の場として定着しつつある。また、企業等に出向いて行う出前知財講習会としてサク
ラ工業(株)、浜松市役所に出向いて実施した。この出前知財講習会は、個々の企業等の
事情に合わせた目的、内容で行なうようにしているため、企業等にとって有益であり、
今後も要望があれば積極的に対応していく。

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 — 千円（予算額 — 千円）＜事務局受託＞

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務
局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と
知財に関わる人材育成に取り組む。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また
当機構の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動の向上を図る
とともに、知財に携わる人材のレベルアップを図った。

具体的な活動として、同研究会が開催する講演会や知財問題研究部会等の開催をサ
ポートするとともに、当財団と同研究会の共催にて浜松市委託事業の知財講習会等を
開催した。

(1) 総会

開催日：平成 29 年 6 月 7 日（水）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

内 容：公開講演会「経営に資するブランドマネジメントとは？」

講 師：アリスト特許事務所（浜松市浜北区） 所長・弁理士 橋本 政美 氏

参加者：36 名

(2) 知財問題研究部会（IP 部会）

開催回	開催日	内 容（講師）
第 64 回	5 月 12 日（金）	近時の判例からみた特許権の保護範囲 講師：さくら国際特許法律事務所（東京都千代 田区） 弁護士 三木 浩太郎 氏
第 65 回	7 月 14 日（金）	他社特許対策について 講師：元アイシン高丘(株)特許グループマネジャー 野村 正巳 氏 ※知財研究会幹事
第 66 回	9 月 19 日（火）	事業の弱みを消し、強みを増す、知財戦略 講師：日本知的財産仲裁センター 丸島 儀一 氏 森特許事務所所長（愛知県豊橋市） 弁理士 森 泰比古 氏

第 67 回	11 月 10 日 (金)	商標・ドメインネームを巡る攻防 講師：フロイント産業(株) (東京都新宿区) 法務特許室 長尾 洋 氏 響国際特許事務所 中部ランチ (愛知県豊橋市) 弁理士 西川 隆記 氏
第 68 回	1 月 12 日 (金)	明日の事業を切り拓く 創造発揮手法“TRIZ”の活用研究 講師：(株)アイデア (愛知県名古屋市) 緒方 隆司 氏 講師：ソニー(株) (東京都港区) 永瀬 徳美 氏 講師：アイディエーションジャパン(株) (東京都中央区) 上野 輝之 氏
第 69 回	3 月 2 日 (金)	ソフトウェア・ビジネスモデルの特許・知財実務を考える 講師：弁理士 前浜 正治 氏 (神奈川県川崎市)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

定 員：各回 30 名

参加者：第 64 回 29 名、第 65 回 27 名、第 66 回 33 名、第 67 回 18 名、
第 68 回 48 名、第 69 回 20 名

(3) 知財経営研究部会 (CIPO 部会)

開催回	開催日	内 容 (講師)
第 6 回	3 月 22 日 (木)	次世代自動車の変革と対応 講師：(株)ベンチャーラボ (浜松市中区) 東海支社長 中村 穰治 氏 会 場：浜松労政会館 定 員：40 名 参加者：14 名

(4) 講演会

講演会①

開催日：平成 29 年 5 月 26 日 (金)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：ヴェバー・ウント・ハイム特許事務所 (ドイツ)

欧州特許弁理士 レイナー・ヴンデルリッヒ 氏

内 容：「イギリスの EU 脱退 (BREXIT) がヨーロッパに与える知財分野の
影響」

受講料：無料

参加者：16 社 18 名 (定員：40 名、申込：20 名)

講演会②

開催日：平成 29 年 6 月 7 日 (水)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講 師：アリスト特許事務所 (浜松市浜北区) 所長 弁理士 橋本 政美 氏

内 容：「経営に資するブランドマネジメントとは？」

受講料：無料

参加者：27 社 31 名 (定員：50 名、申込：33 名)

講演会③

開催日：平成 29 年 9 月 6 日 (水)

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター
講 師：法務法人(有限)太平洋／特許法人 太平洋
 弁護士・弁理士 李 厚東 氏
内 容：「韓国の知的財産分野の状況について」
受講料：無料
参加者：13社23名（定員：40名、申込：22名）

【年度総括】

同研究会の総会で承認された平成 29 年度の事業計画に沿って知財講演会、研究部会（IP 部会、CIPO 部会）を開催した。知財講演会および部会は、会員企業の知財担当者および弁理士などが幹事・委員として自ら企画・運営していることにより、会員にとって有益な活動ができていると思われる。

9 特許等出願支援補助事業

決算額 3,874,464 円（予算額 4,199 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願および海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対する出願費用の補助を行った。国内出願補助金と海外出願補助金を一本化し、補助金申請状況に合わせて柔軟に対応した。

また、補助金採択企業に対して、出願後のフォローアップを含めて必要な支援を行うように努めた。

(1) 特許等出願支援補助金

公募期間：[1次] 平成 29 年 4 月 17 日（月）～5 月 31 日（水）

[2次] 平成 29 年 9 月 6 日（水）～9 月 29 日（金）

ア 国内出願補助金（予算配分目安 1,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補助金額：上限 150 千円

対象経費：出願手数料、弁理士経費

イ 海外出願補助金（予算配分目安 2,500 千円）

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用
先行技術調査費用など

申請件数：[1次] 国内 9 件、海外 5 件

[2次] 国内 3 件、海外 3 件

採択件数：[1次] 国内9件、海外5件

[2次] 国内3件、海外2件

交付決定額：[1次] 国内1,350,000円(9件)、海外1,958,049円(5件)

[2次] 国内450,000円(3件)、海外940,000円(2件)

交付確定額：[1次] 国内1,200,000円(8件)、海外1,387,284円(4件)

[2次] 国内450,000円(3件)、海外834,398円(2件)

【国内出願補助金】

(単位：円)

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)上島電興社 (浜松市中区)	特許	自立度向上を支援する見守り服薬支援機の開発	150,000
2	ATV(株) (浜松市北区)	特許	電子ドラムの新製品開発及び販売	150,000
3	ECO METAL ENG (株) (浜松市中区)	特許	ダイカスト装置における真空室内での給湯・鋳込み機構によるダウンサイズ加工法、ならびに多工程循環型鋳造システムの開発	※事業中止
4	(株)サイト (浜松市西区)	特許	電動キャスター販売事業	150,000
5	(株)アスタワン (浜松市中区)	特許	賢いゴミ箱「ステルラ」の開発	150,000
6	(株)日本設計工業 (浜松市北区)	特許	フィルム状ワーク吸着装置	150,000
7	イケヤ工業(株) (浜松市浜北区)	特許	釣り竿保持ユニット	150,000
8	(株)治一郎 (浜松市東区)	特許	バウムクーヘンの容器および包装方法	150,000
9	(株)田中造園 (浜松市西区)	特許	雑草防除用の地表被覆物および地表被覆法の開発	150,000
計				1,200,000

2次	申請企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株) (浜松市浜北区)	特許	液体のpHを制御可能な電解方法	150,000
2	(株)アミット (浜松市南区)	特許	DTP アプリケーションソフトウェアにおけるコンテンツ共有システム	150,000
3	(株)宝福 (浜松市東区)	特許	パン等の長期保存用容器	150,000
計				450,000

【海外出願補助金】

(単位：円)

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)アールテック (浜松市東区)	特許	3次元造形物の製造方法、3次元造形物の製造装置、3次元造形物及び造形材料	※事業中止
2	やまと興業(株) (浜松市浜北区)	特許	ボーデンケーブルの湾曲部保形構造	500,000
3	ショーダテクトロン(株) (浜松市西区)	特許	分割溝経営装置および分割溝形成方法	322,099
4	ATV(株) (浜松市北区)	商標	電子ドラムの新製品開発及び販売	245,301
5	(株)日本設計工業 (浜松市浜北区)	特許	フィルム状ワーク吸着装置	319,884
計				1,387,284

2次	申請企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)ジェネシス (浜松市中区)	特許	物品収納ケース	不採択
2	(有)パパラボ (浜松市中区)	特許	金属表面の質感評価装置及び評価方法	334,398
3	サクラ工業(株) (浜松市東区)	商標	商標「SM マーク」	500,000
計				834,398

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
国内出願補助金業採択件数	13件	12件	10件
海外出願補助金採択件数	6件	7件	5件
企業訪問件数	－社	9社	15社

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

【年度総括】

平成29年度の特許等出願費補助金は、平成29年4月の募集で予算額に達しなかったため、9月に二次募集を実施し、合計で国内12件、海外7件の採択を行った。採択した案件は、他社の模倣防止や取引における自社独自技術PRのための国内、海外特許出願および海外進出に伴う企業ロゴマークの海外商標出願である。中小企業においても、事業での知的財産権活用意識が高くなってきており、特許等の出願・権利取得に積極的に取り組むようになりつつある。このような中小企業の知的財産権取得を支援する面からこの出願補助金事業は有効なものである。

平成30年度は、採択企業に対して事業が適正に執行されるよう、企業訪問等によるフォローアップを実施するとともに、過去の採択企業に対するフォローアップも行っていく。

10 特許流通支援事業

決算額 218,688 円（予算額 200 千円）＜県補助＞

【目的】

中小企業等の経営資源としての保有特許の活用（ライセンス、アライアンス形成等）及び研究開発における外部資源の活用（特許技術導入等）のための特許流通に関する支援を行う。

【実施内容】

中小企業等の保有特許の活用および新製品開発における外部特許の活用に関する特許流通についての知財相談に対して、静岡県特許流通アドバイザー等と連携して支援した。また、（公財）静岡県産業振興財団が行なっている知財マッチング事業に連携・協力して知財マッチング事業を推進した。

さらに、知財マッチングに積極的に取り組んでいる富士通㈱の知財活用戦略に関する講演会を開催した。

(1) 知的財産マッチング会 in 浜松

開催日：平成 29 年 7 月 20 日（木） 13：30～16：30

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講師：中部電力㈱（愛知県名古屋市）

国立研究開発法人産業技術総合研究所（東京都千代田区）

受講料：無料

参加者：44 名（定員なし）

主催：静岡県、（公財）静岡県産業振興財団

共催：（公財）浜松地域イノベーション推進機構

(2) 講演会

開催日：平成 30 年 2 月 16 日（金）14:00～16:30

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

講師：富士通㈱（東京都港区） 広瀬 勇一 氏

内容：富士通による新しい知財戦略 ～知財活用の在り方を考える～

受講料：無料

参加者：29 名（定員：50 名）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
特許流通支援件数	6 件	8 件	10 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

特許の売込みなどに関する相談に対しては、基本的にはライセンス契約や売込みの手法などについてアドバイスをしているが、売込み先が全く未定の個人からの相談については、ノウハウを持つ静岡県の特許流通アドバイザーと連携して対応した。

また、最近話題となっている中小企業が大企業等の開放特許を活用した新技術・新製品開発を行う知財マッチングについては、既に「知財マッチング事業」を行なっている（公財）静岡県産業振興財団と連携・協力して推進し、平成 29 年度の共催事業として「知的財産マッチング in 浜松」を開催するとともに、地域企業に知財マッチングに関する PR 活動を行った。

さらに、特許流通に関連した講演会として、知財マッチングに積極的に取り組んでいる富士通㈱の知財マッチング事業責任者を講師に迎え、知財マッチング事例紹介をするとともに、大企業の開放特許活用の意義、有用性について講演会を開催した。

1 1 産学官知財連携推進事業

決算額 0 円（予算額 0 千円）＜浜松市委託＞

【目的】

浜松市内の中小企業の知財活動における産学連携を促進し、地域大学との共同研究、公的研究機関の技術指導等の連携を強化するなど、知財による産学官連携活動の更なる進展を図り、浜松地域の知財活用を促進する。

【実施内容】

静岡技術移転合同会社（静岡 TTO）・浜松市・財団の 3 者で協議を行い、平成 29 年度事業について検討した。しかし、静岡 TTO の運営方針が変更となり、昨年度まで開催していた産学官知財マッチング会等の大きなイベントが取り止めとなり、財団ホームページから静岡 TTO のホームページにリンクを張り、地域大学の保有するシーズに関する情報発信程度にとどまった。

【年度総括】

平成 29 年度は、静岡 TTO の運営方針の変更によって、大幅な事業の見直しが行われた。今後も継続的に静岡 TTO・市・財団で協議を行い、知財を通じた産学連携の活動促進の方策を検討していく。

5 【学ぶ】 人材育成支援

1 2 新素材・新技術講座

決算額 1,156,127 円（予算額 1,066 千円）＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

従来技術の高度化や新規事業に取り組みたい中小企業経営者を対象に、新素材や新技術に対応するための各種セミナーを開催することにより、地域企業のレベルアップを目指す。

【実施内容】

普及へ加速が進む CNF や自動車部品の軽量化に向けた異種材料の接合等の新素材・新技術について、各種セミナーを開催した。

(1) CNF セミナー

開催日：平成 29 年 6 月 14 日（水）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／CNF が拓く地域の未来 ～CNF の現状と可能性～

講師／東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物材料科学専攻
教授 磯貝 明 氏

演題／素材メーカーの取り組み ～CNF の開発～

講師／モリマシナリー(株) (岡山県赤磐市)

セルローズ開発室 室長 山本 顕弘 氏

演題／CNF の用途開発 ～ウッドプラスチックへの利用～

講師／トクラス(株) (浜松市西区)

商品技術開発部 技術開発グループ 課長代理 大峠 慎二 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：91 社 124 名（定員：150 名、申込 165 名）

[県西部地域] 企業 67 社 97 名、行政・産業支援機関 6 機関 8 名

[県西部地域外] 企業 24 社 27 名、行政・産業支援機関 10 機関 19 名

(2) 異種材料接合セミナー

開催日：平成 29 年 8 月 24 日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：演題／「異種材料接合の現状と課題」

講師／大阪大学 接合科学研究所 特任教授 中田 一博 氏

演題／「自動車メーカーからの高分子材料への期待」

講師／トヨタ自動車(株) (愛知県豊田市)

先進技術開発カンパニー 有機材料技術部長 間瀬 清芝 氏

演題／「ロボット摩擦攪拌接合(FSW)システムの開発」

講師／トライエンジニアリング(株) (愛知県名古屋市)

取締役 営業部部長 兼 開発課課長 岡 丈晴 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：51 社 72 名（定員：70 名、申込 93 名）

[県西部地域] 企業 39 社 57 名、行政・産業支援機関 2 機関 3 名

[県西部地域外] 企業 12 社 15 名、行政・産業支援機関 3 機関 7 名

(3) 軽量化のための新素材セミナー

開催日：平成 29 年 11 月 8 日（水）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／「レーザーによる CFRP 複合材料の加工および異種金属の接合」

講師／(株)最新レーザ技術研究センター（愛知県安城市）代表 兼

光産業創成大学院大学 特任教授 沓名 宗春 氏

演題／事例紹介「各種金属と異種材料のレーザーによる接合」

講師／ダイセルポリマー(株)（東京都港区）

取締役兼新事業企画部 部長 板倉 雅彦 氏

演題：「自動車業界の軽量化動向とレーザー加工の適用事例」

講師：光産業創成大学院大学 客員教授 森 清和 氏

※元日産自動車株式会社（神奈川県横浜市）

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：44 社 57 名（定員：70 名、申込 66 名）

[県西部地域] 企業 37 社 50 名、行政・産業支援機関 4 機関 4 名

[県西部地域外] 企業 7 社 7 名、行政・産業支援機関 2 機関 3 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
講座受講者数	261 名	253 名	210 名以上
講座受講者満足度	99%	93%	90%以上
企業訪問数	—	3 社	10 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度は、中小企業が新たな経営戦略及び技術開発につなげるための次世代技術である CNF や異種材料接合のセミナーを開催した。また、大手メーカーの今後の技術動向を把握するため、レーザーを使った工法による軽量化への取組みに関するセミナーを実施した。次世代技術に関する両講座は定員を上回る申込みがあり、かつ満足度も非常に高かったものの、軽量化対応のための新素材・新工法の講座は関心が薄く、参加人数は定員を下回った。

全体的に受講者の満足度は高かったことから、平成 30 年度以降も引き続き新技術や国の経済政策等の最新動向を注視し、地域課題や地域ニーズに即した最新技術の情報提供の場を企画するとともに、新たな研究開発テーマの提供や、新産業創出を支援していく。

1 3 製造中核人材育成事業

決算額 2,644,404 円（予算額 2,906 千円）＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通せるような現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習

をセットにしたスタイルで講座を開催した。

ア 講座

開催日：平成 29 年 5 月 31 日（水）～ 11 月 14 日（火） 全 24 回実施予定

会 場：グランドホテル浜松、スズキ歴史館（浜松市南区）、新日鐵住金(株)名古屋製
鐵所（愛知県東海市）、ヤマハ発動機(株)（磐田市）、(株)木村鋳造所（御前崎
市）、浜松商工会議所会館、浜松工業技術支援センター（浜松市北区）、イ
オインダストリー(株)（湖西市）、スズキ(株)湖西工場（湖西市）、西誠(株)（浜
松市西区）、浜松熱処理工業(株)（浜松市南区）、(株)豊田自動織機（愛知県刈
谷市）、(株)オーミ（磐田市）、神谷理研(株)西テクノ工場（浜松市西区）、(株)丸
山コーポレーション（浜松市南区）、(株)ユニバンス（湖西市）、ポリテクカ
レッジ浜松（浜松市南区）、浜松テクノカレッジ（浜松市東区）、(株)エム・
エス・ケー（浜松市浜北区）、ハマニ化成(株)（浜松市西区）、トクラス(株)（浜
松市西区）、ホテルクラウンパレス浜松

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：30 社 30 名（定員：30 名、申込：36 名）

[浜松市] 企業 17 社 17 名、[県西部 7 市町] 企業 13 社 13 名

・平成 29 年度 講座内容

開催日	内 容	講 師
5 月 31 日（水）	開講式	
	講演①「スズキのものづくり と海外進出」	スズキ(株) 第二生産技術部長 島 邦治 氏
	講演②「ヤマハ発動機のもの づくり 魅力品質創出と現場 標準装備のコラボレーショ ン」	ヤマハ発動機(株) 生産技術部長 木村 嘉浩 氏
	交流会（受講生＋上司の方）	
6 月 6 日（火）	輸送機器ものづくり概論	スズキ(株) 技術教育課長 宮井 研二 氏
6 月 13 日（火）	金属・材料概論	新日鐵住金(株) 技術開発本部 名古屋技術研究部 主幹研究員 東 昌史 氏
	製鉄現場見学	
6 月 22 日（木）	鋳造概論	ヤマハ発動機(株) EG コンポーネント統括部・EG ユ ニット技術部ヘッドシリンダグル ープ ヘッドシリンダ製技鋳造係 奥出 智重 氏
	鋳造工場見学	
6 月 27 日（火）	5S 概論	(株)木村鋳造所 執行役員 御前崎工場長 梶原 道哉 氏
	工場見学	
7 月 5 日（水）	現場マネージャーの心得 （講義）	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
	現場マネージャーの心得 （グループディスカッション）	

7月12日(水)	鍛造概論	浜松工業技術支援センター 光科 鷲坂 芳弘 氏
	組織概論	浜松工業技術支援センター 材料科 科長 伊藤 芳典 氏
	設備見学	
7月20日(木)	樹脂成形概論	イオインダストリー(株) 生産グループ 生産技術部 部長 緑川 広貴 氏
	樹脂成形工場見学	
7月26日(水)	板材成形概論	スズキ(株) 第二生産技術部 第三 車体課 専門職 飯盛 敦宏 氏
	輸送用機器完成車工程工場見学	
	受講生交流会	
8月2日(水)	切削概論	ヤマハ発動機(株) EG コンポーネ ント統括部・生産技術部 機械加 工技術グループ 酒井 健司 氏
	切削現場見学	西誠(株) 代表取締役社長 西山 恭矢 氏
8月8日(火)	トヨタ式現場改善・人材育成 現場見学	(株)豊田自動織機 高浜工場
8月23日(水)	熱処理概論	浜松熱処理工業(株) 技術部 開発グループ 杉山 京司 氏
	熱処理現場見学	
8月30日(水)	金型概論	(株)オーミ 代表取締役 大平 晃裕 氏
	現場見学	
9月5日(火)	めっき・表面処理概論	神谷理研(株) 専務取締役 神谷 武彦 氏
	めっき・表面処理 現場視察	
9月13日(水)	塗装概論	ヤマハ発動機(株) PF 車両エット コンポーネント統括部 エット技術部 カラーリンググループ グループリーダー 村木 宏行 氏
	塗装現場見学	(株)丸山コーポレーション 専務取締役 田村 啓太郎 氏
9月21日(木)	TPM 概論	(株)ユニバンス
	現場見学	
9月27日(水)	施設見学1日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10月4日(水)	施設見学2日目 フライス盤、旋盤	ポリテクカレッジ浜松
10月17日(火)	3Dプリンタ概論、現場見学	(株)エム・エス・ケー 代表取締役 松浦 譲 氏

10月25日(水)	自動車用品製造現場見学	ハマニ化成(株) 企画室 室長 鈴木 一義 氏
11月1日(水)	トクラス(株)ものづくり現場見学	トクラスプロダクツ(株) (浜松市西区) 総務部部長 齋藤 孝弘 氏
	特別講義：独創力はどうすれば身につくか？	澤井 隆治 氏 (元トクラス(株)取締役)
11月9日(木)	品質管理概論 (講義)	関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
11月14日(火)	修了式	
	公開講演①	(一社) 日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
	公開講演②	(株)由紀精密 (東京都大田区) 代表取締役社長 大坪 正人 氏
	交流会 (受講生+上司の方)	

イ 修了式基調講演会 (公開)

開催日：平成 29 年 11 月 14 日 (火)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／自動車産業の最新技術動向と中小企業の研究開発事例紹介

講師／(一社) 日本自動車部品工業会 (東京都港区)

技術担当顧問 松島 正秀 氏

演題／中小企業の高付加価値型ものづくり戦略

講師／(株)由紀精密 (東京都大田区) 代表取締役社長 大坪 正人 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：71 社 98 名 (定員：100 名、申込 108 名)

[県西部地域] 企業 65 社 90 名、行政・産業支援機関 4 機関 7 名

[県西部地域外] 企業 6 社 8 名、行政・産業支援機関 1 機関 3 名

ウ 平成 29 年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：平成 29 年 12 月 18 日 (月)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：スズキ(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)ユニバンス、イオインダストリー(株)、

神谷理研(株)、浜松市、浜松商工会議所、静岡県立浜松技術専門学校、

静岡県工業技術研究所、ポリテクカレッジ浜松

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
講座受講者数	29 名	30 名	30 名以上
講座新規受講社数	8 社	15 社	10 社
講座受講者満足度	100%	97%	90%以上
企業訪問数	—	10 社	10 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度のカリキュラムは、昨年度実施した「製造中核人材育成講座・運営委員会」の意見を参考に、現場講義と工場見学を基本方針とし、新たなカリキュラムと

して「TPM 概論」「品質管理概論」を追加して講座をスタートさせた。講座の認知度向上に伴い、平成 28 年度は定員を大幅に上回る申込があったため、平成 29 年度は定員を増やし公募した結果、30 社の内 15 社（7 社が浜松市以外の西部 7 市町）が新規企業であった。また、目的のひとつである企業間交流促進においては、受講生が自発的に交流会を開催するなど、積極的にコミュニケーションが図られた。結果、6 件の企業間マッチングに繋がった。

以上により、アンケート結果では受講者全員から「大変参考になった」「参考になった」との回答を得られ、当地域中小企業の中核を担う人材育成が図られた。

今後も継続的に受講企業への訪問を行い、財団事業の PR を実施するとともに、新規顧客開拓と受講企業への総合的なフォローアップにつなげていく。

1 4 現場力向上人材育成事業

決算額 1,607,622 円（予算額 1,815 千円）＜県補助・8 市町負担金＞

【目的】

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

【実施内容】

現場力向上に必要な下記講座を開催する。また、講座参加企業を対象に財団 CD と外部アドバイザー派遣を実施し、伴走型の支援を行った。

(1) 事業継続計画（BCP）策定・運用のセミナー

開催日：平成 29 年 9 月 25 日（月）

会 場：呉竹荘

内 容：演題／静岡県の事業継続計画（BCP）に対する支援について

講師／静岡県経済産業部商工業局商工振興課

演題／BCP 策定事例報告

講師／(株)ジーアクト（浜松市浜北区）

専務取締役 堀内 康博 氏

演題／現場を強くする事業継続計画策定のポイント

講師／静岡県事業継続マネジメント協同組合 代表理事 木村 俊彦 氏

演題／中小企業のための事業継続計画（BCP）と情報セキュリティ

講師／(株)ラック（東京都千代田区）

セキュリティコンサル部 エバンジェリスト 原子 拓 氏

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：20 社 23 名（定員：50 名、申込：27 名）

[県西部地域] 企業 17 社 20 名

[県西部地域外] 企業 3 社 3 名、行政・産業支援機関 2 機関 2 名

(2) 現場改善の基礎講座

ア 中小企業の現場改善セミナー

開催日：平成 29 年 5 月 26 日（金）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／町工場の経営改革と人材育成・採用

講師／ダイヤ精機(株)（東京都大田区）

代表取締役 諏訪 貴子 氏

演題／製造業の現場改善ステップ！強い工場の作り方
講師／関ものづくり研究所（浜松市北区） 代表 関 伸一 氏
受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
参加者：89 社 115 名（定員：100 名、申込：147 名）
[県西部地域] 企業 79 社 104 名、行政・産業支援機関 4 機関 5 名
[県西部地域外] 企業 10 社 11 名

イ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全 5 回）

開催日：平成 29 年 6 月 30 日（金）～8 月 9 日（水）
会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
内 容：ものづくりの基礎・一個流し生産、現場改善の基本、ものづくりの
管理技術、コミュニケーションの重要性、これからのものづくり
参加料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円
参加者：28 社 35 名（定員：20 名、申込：40 名）
[県西部地域] 企業 27 社 34 名、[県西部地域外] 企業 1 社 1 名

(3) 産業用ロボット導入セミナー

開催日：平成 29 年 6 月 21 日（水）
会 場：グランドホテル浜松
内 容：演題／中小企業でもできる現場への効果的なロボット導入方法と考
え方
講師／アラキエンジニアリング（浜松市中区） 代表 荒木 弥 氏
演題／ロボットベンチャーが考えるロボット活用の未来
講師／リンクウィズ(株)（浜松市中区） 代表取締役 吹野 豪 氏
演題／ロボット導入による社内イノベーション
講師／三和ロボティクス(株)（長野県飯田市） 代表 沢 宏宣 氏
参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
参加者：74 社 107 名（定員：70 名、申込：140 名）
[県西部地域] 企業 59 社 83 名、行政・産業支援機関 3 機関 4 名
[県西部地域外] 企業 15 社 24 名、行政・産業支援機関 4 機関 4 名

(4) （公社）日本プラントメンテナンス協会 ※共催事業

ア からくり改善実践講座

開催日：平成 29 年 7 月 27 日（木）
会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
内 容：からくりとは、歴史と現状、からくり改善の原理、改善の進め方、
改善の分類別事例 等 ※グループワーク実施
講 師：（公社）日本プラントメンテナンス協会
技術アドバイザー 新見 芳宣 氏
参加料：37,800 円
参加者：8 社 30 名

イ 自主保全基本講座

開催日：平成 29 年 9 月 8 日（金）
会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
内 容：自主保全の生い立ちと基礎、自主保全の活動と展開、改善の考え方、
活動の成功ポイント 等

講師：(公社) 日本プラントメンテナンス協会
技術アドバイザー 原田 英利 氏

参加料：19,440 円

参加者：6 社 9 名

ウ からくり改善くふう展 2017 視察会

開催日：平成 29 年 9 月 28 日 (木)、29 日 (金)

会場：ポートメッセなごや 第 3 展示館

内容：大手企業等の製造現場のからくり改善が展示・紹介されているイベントを視察し、他社の改善事例を参考に自社の現場改善に役立てる。

参加料：10,000 円

参加者：22 社 146 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
講座受講者数	492 名	280 名	220 名以上
講座受講者満足度	98%	97%	90%以上
現場改善実践社数	—	1 社	15 社
企業訪問数	—	7 社	5 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度は、これまで単発で実施していた講座を体系化し、現場改善のリーダー人材育成を目的に「中小企業の現場改善セミナー」と「高付加価値の現場をつくる改善推進スクール(全 5 回)」を開催した。セミナー、スクールともに定員を大幅に上回る申し込みがあり、現場改善を体系的に学ぶことへのニーズの高さが伺えた。セミナーでは、中小企業の実情に即し、現場力強化につながるロボット導入について解説する「産業用ロボット導入セミナー」を開催した。定員に対して 2 倍の申し込みがあり、ロボット産業に関心を持つ企業が多いことが示された。

また、スクール修了後には、スクール講師の関伸一氏による受講企業を対象とした個別アドバイザー派遣により、株式会社エコムに対してフォローアップを実施した。

今後も、本事業に参加した企業への訪問を継続的に実施し、製造現場の課題把握に努めるとともに、各企業の現場改善に対する支援を行っていく。

1 5 自社製品開発事業

決算額 1,743,790 円 (予算額 1,898 千円) <県補助・8 市町負担金>

【目的】

自社の強みを活かしたオリジナル製品を企画から販売まで一貫して実践できる人材を育成し、下請け企業の自社製品開発を支援する。

【実施内容】

自社製品開発の手法を一から学び、講師とハンズオンで事業計画を作成するスクールを実施する。受講後も月 1 回のフォローアップにより、クラウドファンディングへの挑戦や製品化までを伴走型で支援した。

(1) 自社製品開発講座

ア 第3期 はままつ自社製品開発スクール (全5日)

開催日：平成29年7月7日(金)、13日(木)、21日(金)、28日(金)、
8月4日(金)

会場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱リバーランズ・コンサルティング (三島市)

代表取締役 坂井 正徳 氏

内容：マイクロものづくり概論、チームビルディング、コンセプト作成、中小企業の開発事例紹介、自社の強み探索、ITフル活用講義、製品企画書作成、ストーリーボード作成、メディア戦略概論、プレスリリース作成、クラウドファンディング概論、成果発表会資料作成、成果発表会

受講料：[県西部地域] 50,000円、[県西部地域外] 100,000円

参加者：5社5名(定員：5名、申込：5名)

[県西部地域] 企業5社5名

その他：フォローアップ講座5回実施

<第3期成果発表会>

開催日：平成29年9月14日(木)

会場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱リバーランズ・コンサルティング (三島市)

代表取締役 坂井 正徳 氏

内容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000円

参加者：16社17名(定員：25名、申込：17名)

[県西部地域] 企業13社14名

[県西部地域外] 企業3社3名

イ 第4期 はままつ自社製品開発スクール (全5日)

開催日：平成29年9月～11月

会場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱リバーランズ・コンサルティング (三島市)

代表取締役 坂井 正徳 氏

内容：マイクロものづくり概論、チームビルディング、コンセプト作成、中小企業の開発事例紹介、自社の強み探索、ITフル活用講義、製品企画書作成、ストーリーボード作成、メディア戦略概論、プレスリリース作成、クラウドファンディング概論、成果発表会資料作成、成果発表会

受講料：[県西部地域] 50,000円、[県西部地域外] 100,000円

参加者：3社3名(定員：5名、申込：4名)

[県西部地域] 企業3社3名

その他：フォローアップ講座5回実施

<第4期成果発表会>

開催日：平成29年12月6日(水)

会場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱リバーランズ・コンサルティング (三島市)

代表取締役 坂井 正徳 氏

内容：本スクールの振り返り、成果発表、総評、交流会

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
 参加者：17 社 23 名（定員：25 名、申込 26 名）
 [県西部地域] 企業 16 社 22 名、行政・産業支援機関 3 機関 3 名
 [県西部地域外] 企業 1 社 1 名

(2) デザインマネジメント実践ワークショップ

開催日：平成 29 年 12 月 19 日（火）
 会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
 講師：慶應義塾大学大学院
 システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師 富田 欣和 氏
 内容：「価値」に焦点を当てた企画力・発想力を高める講義とワークショップ
 受講料：[県西部地域] 3,000 円、[県西部地域外] 6,000 円
 参加者：27 社 34 名（定員：25 名、申込 36 名）
 [県西部地域] 企業 23 社 29 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名
 [県西部地域外] 企業 4 社 5 名

(3) 中小企業の自社製品開発セミナー

開催日：平成 29 年 12 月 14（木）
 会場：ホテルクラウンパレス浜松
 内容：演題／製品開発におけるビジネスモデルの罫
 講師／Lean Startup Japan LLC（東京都港区）代表社員
 プロセスコンサルタント 和波 俊久 氏
 演題／般若心経に学ぶ中小企業の商品開発
 講師／CD システム(株)（浜松市北区）代表取締役社長 森 努 氏
 演題／はままつ自社製品開発スクールの取り組み
 講師／(株)リバーランズ・コンサルティング（三島市）
 代表取締役 坂井 正徳 氏
 演題／「くるくるパンプアップ」BtoC 始めました
 講師／(有)光精工（三重県桑名市）専務取締役 秋山 大輔 氏
 受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
 参加者：34 社 41 名（定員：100 名、申込 54 名）
 [県西部地域] 企業 30 社 36 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名
 [県西部地域外] 企業 4 社 5 名、行政・産業支援機関 1 機関 2 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
新規ビジネスモデル・試作品製作件数	10 件	8 件	10 件
製品化・商品化件数	—	1 件	2 件
企業訪問数	—	7 社	5 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 28 年度からの継続事業として、平成 29 年度第 3 四半期までに「はままつ自社製品開発スクール第 3 期、第 4 期」を開催した。下請け型の中小企業がゼロから自社製品開発を行うには、様々なハードルが存在するが、講師と財団コーディネーターのサポートにより、参加企業 8 社 8 名全員が新規ビジネスモデルや試作品の開

発に成功し、成果発表会で報告を行うことができた。スクール終了後も、スクール参加企業を対象に、講師のフォローアップを各5回ずつ実施し、製品化に向けた支援を継続した。

また、平成29年12月には、地域製造業者の自社製品開発を推進するため、「自社製品開発セミナー」「デザインマネジメント実践ワークショップ」を開催した。自社製品開発スクールにおいては、コンセプトの明確化が課題であったため、本年度はコンセプト構築を主なテーマとして取り上げるとともに、自社製品開発に向けた実戦形式のワークショップ（企画から開発までを一気通貫で学ぶ人材育成講座）を開催し、参加者から高評価を得ることができた。

平成30年度は、スクール第1期（平成28年度）から第4期までに卒業した計18社に対して、共同研究事業費補助金の活用をはじめとする各種補助金獲得、クラウドファンディングや販路開拓など各種制度の案内し、製品化の推進を支援する。

また、スクールの卒業生が連携することにより、プロダクト創出に向けた機運が高まったため、必要に応じて財団CDが側面支援を実施する。並行して、第5期以降の自社製品開発スクールの受講見込み企業に対してPRを行うとともに、卒業生同士の人的ネットワークを広げていく。

※「はままつ自社製品開発スクール卒業生（第1期・第2期・第3期・第4期）」

18社の成果状況

- ・製品化に向けた知財取得準備（特許等出願費補助金獲得）：1社
- ・共同研究事業費補助金獲得：1社
- ・コトづくり分野での事業化達成：1社

6【創る】新事業開発支援

16 オープンイノベーション浜松創出支援事業

決算額 5,114,967 円（予算額 5,119 千円）〈浜松市委託〉

【目的】

市場ニーズに応える製品・技術開発を推進するため、企業間の連携、標準化活用支援など、幅広い分野の情報収集やマッチング機会の創出を図る。

また、将来的に競争的資金等の獲得による事業化を図るため、共同研究を促進する補助制度を昨年度に引き続き実施する。

【実施内容】

(1) オープンイノベーションフォーラム事業

中小企業の新製品・新技術開発を支援するための「情報提供」と「マッチング」の場を設けた。「開発テーマ・技術ニーズ情報の提供」、「技術ニーズをマッチングする場の設定」、「財団コーディネーターによるサポート」等で総合的に中小企業等の共同研究による製品開発や事業化を支援した。

ア オープンイノベーションフォーラム 2017

開催日：平成 29 年 5 月 18 日（木）

会場：グランドホテル浜松

内容：演題／国内外の事例に見るオープンイノベーションの効果

講師／オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

(NEDO) イノベーション推進部 主幹 小栗 和行 氏

演題／ベンチャー企業と浜松地域のオープンイノベーション

講師／(株)ビズリーチ（東京都渋谷区）

地方創生支援室チーフ・プロデューサー

社長室特命プロデューサー 加瀬澤 良年 氏

(株)PrmaCeed（東京都新宿区）

代表取締役 岩田 彰人 氏

演題／夢をビジネスに変える力！～新しいモノづくりを生み出す
“つなげる仕組み”

講師／(株)キャストム（広島県福山市）

代表取締役 戸田 拓夫 氏（折り紙ヒコーキ協会会長）

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：47 社 70 名（定員：200 名、申込：93 名）

[市内] 企業 34 社 51 名、行政・産業支援機関 5 機関 5 名

[市外] 企業 13 社 19 名、行政・産業支援機関 4 機関 6 名

イ 産業用ロボット業界参入セミナー

開催日：平成 29 年 7 月 25 日（火）

会場：グランドホテル浜松

内容：演題／産業用ロボットの現状と課題

講師／国立研究開発法人産業技術総合研究所

知能システム研究部門 主任研究員 音田 弘 氏

演題／SIer 視点での産業用ロボットの未来と双腕ロボット

講師／(株)日本設計工業（浜松市北区）

代表取締役 名倉 慎太郎 氏

演題/ティーチング不要なロボットの展開について

講師/富士機械製造(株) (愛知県知立市)

開発センター SW プロジェクトリーダー 藤田 政利 氏

受講料:[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者: 45 社 56 名 (定員: 50 名、申込: 70 名)

[市内] 企業 31 社 37 名、行政・産業支援機関 3 機関 6 名

[市外] 企業 14 社 19 名、行政・産業支援機関 4 機関 5 名

ウ 技術開発勉強会

開催日:平成 29 年 9 月 8 日 (金) ~10 月 27 日 (金) (全 4 回)

会 場: (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容: ①平成 29 年 9 月 8 日 (金)

内容/いま、産業用ロボットに何が求められているのか

講師/RobiZy プロジェクト (東京都千代田区)

事務局長 伊藤 デイビッド 拓史 氏

(株)日本設計工業 (浜松市北区)

代表取締役 名倉 慎太郎 氏

アラキエンジニアリング (浜松市中区) 代表 荒木 弥 氏

②平成 29 年 9 月 29 日 (金)

内容/医療業界でのロボットのニーズとモーター・インバータに関するシーズ

講師/(株)メディカロイド (神戸市中央区)

常務取締役 田中 博文 氏

静岡理科大学 大学院理工学研究科 教授 高橋 久 氏

③平成 29 年 10 月 13 日 (金)

内容/食品業界でのロボットのニーズとマニピュレーションに関するシーズ

講師/ファナック(株) (山梨県南都留郡忍野村) ロボット事業本部

ロボット国内セールス本部 ロボット国内西部セールス部

名古屋一般産業二課 飯野 誠 氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所

知能システム研究部門 主任研究員 音田 弘 氏

④平成 29 年 10 月 27 日 (金)

内容/物流業界でのロボットのニーズとセンシングに関するシーズ

講師/(株)流通研究社 (東京都豊島区)

代表取締役社長 菊田 一郎 氏

国立大学法人豊橋技術科学大学 機械工学系

准教授 三好 孝典 氏

受講料:[市内] 10,000 円、[市外] 20,000 円

参加者: 17 社 17 名 (定員: 20 名、申込: 17 名)

[市内] 企業 15 社 15 名、行政・産業支援機関 0 機関 0 名

[市外] 企業 2 社 2 名、行政・産業支援機関 0 機関 0 名

エ 技術ニーズ説明会

開催日:平成 29 年 10 月 19 日 (木)

会 場: グランドホテル浜松

発表者：(株)MTG（愛知県名古屋市）

内 容：大手企業等による開発に係るニーズ説明

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：34 社 39 名（定員：80 名、申込：44 名）

[市内] 企業 30 社 33 名、行政・産業支援機関 2 機関 2 名

[市外] 企業 4 社 6 名

エントリー社数：20 社

個別面談社数：5 社

進捗状況：個別面談後、2 社の事案が検討中

オ マッチング創出

<活動内容>

企業間マッチング

- ・地域企業のニーズ、シーズ情報の収集
- ・地域外企業のニーズ収集
- ・Linkers エントリー提案：40 件

カ 標準化活用支援

標準化活用支援パートナーシップ制度（経済産業省所管）を活用し、中小企業の技術開発や新市場の創出を支援する。

(2) アマゾンウェブサービスジャパン(株)との共催事業

優れたアイデアを持つ参加者が集まり、与えられたテーマに対して革新的な製品アイデアを考え、試作品を作り上げていく「ハッカソン」を共催事業として開催した。

主催団体：ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会、浜松市

共催団体：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構

ア AWS (Amazon Web Service) 勉強会

開催日：平成 29 年 9 月 26 日（火）

会 場：静岡大学浜松キャンパス

受講料：無料

参加者：16 社 24 名

イ ハママチューン ～浜松サウンドハッカソン～

開催日：平成 29 年 10 月 14 日（土）、15 日（日）

会 場：鴨江アートセンター

受講料：無料

参加者：41 名

ウ サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2017

開催日：平成 29 年 12 月 10 日（日）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：最終成果発表、最終審査 等

(3) 共同研究事業費補助金

国や地方公共団体等の競争的資金獲得を目指して、浜松市内の中小企業者等が連携して取り組む新技術・新製品開発の事業化研究に対して補助金を交付した。

公募期間：[1 次] 平成 29 年 4 月 17 日（月）～5 月 31 日（水）

[2 次] 平成 29 年 7 月 10 日（月）～8 月 9 日（水）

対 象：浜松市内の中小企業者が 2 者以上のグループ
 補 助 率：1/2 以内
 補 助 額：上限 500 千円
 対象経費：材料費・消耗品費、外注費、賃借料、講演会・勉強会等への謝金・旅費など
 申請件数：[1 次] 3 件、[2 次] 1 件
 採択件数：[1 次] 3 件、[2 次] 1 件
 事業期間：交付決定日～平成 30 年 2 月 28 日（水）
 交付決定額：[1 次] 1,500,000 円（3 件）、[2 次] 500,000 円（1 件）
 交付確定額：2,000,000 円（4 件）

<交付企業一覧>

(単位：円)

1 次	1	企業名	㈱セイユー（浜松市西区） ㈱杉山製作所（浜松市西区）	確定額	500,000
		[内容] ニッチな市場を開拓する「アルミ缶潰し機」の開発 [成果と今後] 斬新なコンセプトデザインを行うことができた。難易度は高かったが、実現化に向けて設計を進め、図面まで落とし込む事ができた。今後は、製品化に向けて原理試作を行いたい。			
	2	企業名	㈱ロジフル（浜松市中区） 船田 浩一 氏（浜松市中区）	確定額	500,000
		[内容] 驚異的電力変換効率！AC/DC 変換技術の研究・開発 [成果と今後] 独自技術による効率 99%以上のデジタル電源を開発する事ができた。今後は、ソフトウェアによる仕様の拡大とフィルタリングによるノイズ対策を行い上市に向けて準備を行っていく。			
	3	企業名	㈱栄商会（浜松市東区） ㈱ピアックス（浜松市中区） ㈱浜松木工（浜松市中区） 公立大学法人静岡文化芸術大学	確定額	500,000
		[内容] 新市場を拓く「銘木×ピアノ鏡面塗装」を使用した高級眼鏡ケースの開発 [成果と今後] 地域企業が集まって試作品を製作し、展示会に出展した。今後は、市場の反応を見ながらコストダウンを進め、ビジネスとして育成していく。			
2 次	4	企業名	アンヴァール㈱（浜松市中区） ㈱TAK システムイニシアティブ （浜松市浜北区）	確定額	500,000
		[内容] 3次元ナノ多孔質グラフェンの作成と光電性能評価 [成果と今後] 当初の想定から変更し、省工程での3次元ナノ多孔質グラフェンを生成する可能性を見出すことができた。今回の工法を基に、特許取得や製品の大型化を目指す。			
計					2,000,000

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度*1	平成 29 年度*2	平成 29 年度
新規プロジェクト立ち上げ件数	－	1 件	1 件以上
補助金採択件数	1 件	4 件	4 件
技術連携マッチング件数	1 件	4 件	5 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度のオープンイノベーション浜松創出支援事業は、オープンイノベーションによる取り組みを地域へ啓発するとともに、これまで培われた技術力の組み合わせによる企業連携を促進する目的で、産業用ロボットに注力した事業展開を実施してきた。

産業用ロボット事業に関しては、ロボット業界のニーズと地域企業の技術を組み合わせ、参入可能な事業化プロジェクト（コンセプト）を技術開発勉強会で設定し、第 2 四半期から第 3 四半期にかけて「医療・食品・物流業界」でのロボット動向とニーズから参入へ向けたワークショップ形式の講座を 4 回にわたり実施した。講座を受け、ロボットコンサルタント・ロボット SIer、機械専門商社等、ワークショップ参加メンバーと協議し、次年度以降の事業内容のブラッシュアップを行った。

「共同研究支援補助金」については、第 1 四半期に 3 件、第 2 四半期に 1 件の採択を行い、成果発表を受けて開発の内容を確認し、交付額を確定した。

平成 30 年度は、必要に応じて採択案件のフォローを行いながら、事業化に向けた支援を実施していく。

1 7 新産業創成事業

決算額 6,249,115 円（予算額 6,487 千円）〈浜松市委託〉

【目的】

新たな技術や製品の円滑な事業化に向けた「事業化可能性調査」を促進するとともに、IoT や AI などの最新技術に関する情報提供や啓発を行う。

【実施内容】**(1) 国内事業化可能性調査費補助金**

新技術や製品の事業化及び販路開拓のための事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：[1 次] 平成 29 年 4 月 17 日（月）～5 月 31 日（水）

[2 次] 平成 29 年 7 月 10 日（月）～8 月 9 日（水）

対 象：市内に住所又は主たる事務所を有する中小企業者又は個人事業者
市内に住所又は主たる事務所を有する企業を設立し、新たに事業を開始しようとする中小企業者又は個人事業者

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：材料費・消耗品費、外注費、国内外において実施する調査委託料、専門家への相談料、国内調査に係る旅費

申請件数：[1 次] 10 件、[2 次] 5 件

採択件数：[1次] 8件、[2次] 5件

事業期間：交付決定後～平成30年2月28日（水）

交付決定額：[1次] 3,471,200円（8件）、[2次] 2,392,440円（5件）

交付確定額：5,630,783円（13件）

<交付企業一覧>

（単位：円）

1次	1	企業名	ショーダテクトロン(株) (浜松市西区)	確定額	350,000
		[内容] 頭頸部放射線治療用マウスピースの市場調査			
	[成果と今後] 製品化について調査を行い、ニーズが存在する事が確認できた。その後、調査結果を用いて製品試作モデルを作製した。今後は、特許申請を行い、製品化に向けた動きを加速させていく。				
	2	企業名	知恵の輪(有) (浜松市中区)	確定額	500,000
		[内容] データ送信無線機器の超消費電力技術の市場調査			
	[成果と今後] 3G通信システムを組み込んだモジュールを作成し、また、国内とベトナムでのニーズ調査を行った。既に引き合いがきているので、今後は、標準化によりIoTシステムの多様性を解決し、製品化を目指したい。				
	3	企業名	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	確定額	500,000
		[内容] 可逆データ圧縮を利用した低コスト高速画像データロガーの事業化可能性調査			
	[成果と今後] 試作品を完成させ、技術的な課題が無いことを明らかにした。今後は、汎用品としてそのまま販売するか、外部データを同時に取り込む仕様を付加するか検討しながら製品化を行いたい。				
	4	企業名	仲山貴金属鍍金(株) (浜松市北区)	確定額	500,000
		[内容] 電鍍技術による多孔質体の作製			
	[成果と今後] 電鍍技術による新プロセスでの多孔質体の生成が行えた。今後は、経験値による感覚的な製作を標準化し、企業ニーズによる性能強化を行って製品化に結びつけたい。				
	5	企業名	(有)雪山シボリ (浜松市東区)	確定額	199,605
[内容] 住宅建材業界へ向けたヘラ絞り加工による試作開発・技術の水平展開					
[成果と今後] 試作品の受注に結びつける事ができた。ニーズがある事が分かったので、取りこぼす事が無いように連絡をとり、今後の受注につなげていきたい。					
6	企業名	(株)内山刃物 (浜松市中区)	確定額	500,000	
	[内容] レーザーを用いて開発したダイヤモンド工具の市場性調査				
[成果と今後] 市場性を調査し、技術的な課題を明確にする事ができた。その解決方法を見極めたので、平成30年度の戦略的基盤技術高度化支援事業に応募し採択を目指す。					
7	企業名	合同会社氏原モールド設計 (浜松市浜北区)	確定額	301,200	
	[内容] 金属製家具製品設計への三次元形状作図技術の水平展開				

		[成果と今後] 自動車金型で培った技術を投入する事で、金属製家具製品に適用できることが確認できた。今後は、今回のノウハウを元に受注につなげていきたい。	
8	企業名	ソフトプレシ工業(株) (浜松市西区)	確定額 400,000
	[内容]	軽量パーソナルモビリティ・シート事業化探索事業	
		[成果と今後] 軽量パーソナルモビリティ市場で求められる性能や市場規模を確認する事ができた。今後は、市場規模が小さいため、シートだけではなくモビリティ事業に参入する方向で検討を進める。	
9	企業名	(株)ブルックマンテクノロジー (浜松市中区)	確定額 500,000
	[内容]	ショートパルス型 ToF 測距センサの事業化可能性調査	
		[成果と今後] 今回の試作品が、他社に対して性能が優位である事を定量的に示すことができた。今後は、外乱に対する優位性をよりはっきりさせ、1年後の上市に向けて計画を進めていく。	
10	企業名	(有)クロマニオン (浜松市中区)	確定額 487,538
	[内容]	常設用特殊照明演出機器の試作機及び制御システム開発	
		[成果と今後] 3×3のシステムを試作し効果を確認した。今後は、今回開発した制御ソフトとシミュレータを活用し、補助金に採択された事による信頼度向上の効果を利用して販路を開拓していきたい。	
11	企業名	鹿島木材(株) (浜松市天竜区)	確定額 392,440
	[内容]	表面硬度を高めた天竜材フローリングの商品化	
		[成果と今後] 無加工と WPC 加工のフローリング材料を製作し、定量的なデータを取ることができ、客先にデータを示して判断して頂けることができるようになった。今後は、ナラ、カバ等の樹種や防音性などの硬度以外の要素を評価できるようにしていく。	
12	企業名	鈴木晒整理(株) (浜松市中区)	確定額 500,000
	[内容]	クリーズケアによる新たな販路獲得に向けた調査事業	
		[成果と今後] クリーズケアの需要調査を行い、見込みが高い顧客へ訪問し、加工調査や分析調査が行う事ができた。今後は、引き裂き力低下への対策や残留ホルマリン対策を行い、拡販につなげていきたい。	
13	企業名	アンヴァール(株) (浜松市中区)	確定額 500,000
	[内容]	ナノポーラス構造を有する金属微粒子の可能性調査	
		[成果と今後] 銅ナノ粒子を作製する事に成功した。今後は、粒径制御技術を探索していく。	
計			5,630,783

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
補助金提案採択件数	7 件	13 件	7 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度の補助事業実施にあたり、浜松市と事業内容を協議し、対象分野を浜松市が掲げる成長 6 分野から製造業全般に拡大するなど、地域製造業者にとって活用しやすい制度内容とした。それにより、申請企業の利便性を上げ、予算枠に対して

申し込みが大きく上回ったため、浜松市と予算調整を行い、計 13 件（1 次：8 件、2 次：5 件）を採択した。

平成 30 年度は、運用内容の見直しを再検討するとともに、採択企業のフォローアップを継続して行っていく。

(2) 新産業調査

【目的】

新産業に係る最新の情報提供や意見交換を通じて、新事業分野の発掘や展開可能性の検討を行うと共に、展開・参入につながる事業化研究会の設置の足がかりとする。

【実施内容】

導入へ加速が進む IoT や AI 技術の進展に合わせて、最新情報を収集するとともに、地域企業へ情報発信及びこれらの分野に対する地域企業の取り組み状況を調査することを目的として、AI と IoT 技術セミナーを開催した。

また、職員やコーディネーターの企業訪問を実施し、実情に応じたサポートを行った。

ア テーマ：「AI と IoT 技術でものづくり現場が変わる」

開催日：平成 29 年 7 月 19 日(水)

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／AI の最新動向及び活用方法

講師／(株)クロスコンパス・インテリジェンス（東京都千代田区）

代表取締役 佐藤 聡 氏

演題／製造業における IoT 活用システムの構築

講師／ニッコウプロセス(株)（浜松市北区）

IT ソリューション事業部 IoT 担当 山下 力勇 氏

演題／製造現場におけるリアルデータと IoT

講師／(株)木村鋳造所（駿東郡清水町）

開発部 IoT 課 課長 沖 寿之 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：53 社 70 名（定員：100 名、申込：91 名）

[市内] 企業 36 社 50 名、行政・産業支援機関 3 機関 5 名

[市外] 企業 17 社 20 名、行政・産業支援機関 1 機関 1 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
新規プロジェクト創出件数	—	0 件	1 件
講座受講者の満足度	—	85%	90%以上
企業訪問数	—	0 社	7 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度は、導入への加速が進む IoT や AI 技術に関する最新情報を収集するとともに、地域企業への情報発信及びこれらの分野に対する地域企業の取り組み状況を調査することを目的とし、「AI と IoT 技術でものづくり現場が変わる」セミナーを開催した。

平成 30 年度は、プロパー職員やコーディネーターによる企業訪問を積極的に実施

し、各企業の実情に沿ったサポートを行っていく。

18 国等の研究開発事業化支援事業

決算額 95,737,076 円（予算額 97,458 千円）〈国補助〉

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市などの各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。

【実施内容】

経済産業省などが行う研究開発補助事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり高度化法」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

(1) 新規提案の申請支援《新規採択》

具体的な申請相談が4件あり、うち1件を申請し、採択を受けた。

ア CF RTP を用いた複雑形状部品の圧縮成形技術の開発（新規採択）

研究機関：(株)キャップ（森町）、フタバ産業(株)（愛知県岡崎市）、
静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、静岡大学

実施期間：平成29年度～31年度（1年目）

補助金交付確定額：41,220,670 円

イ 申請支援内容

- ・補助金獲得セミナー（平成29年2月開催）での個別相談：8件
- ・申請相談（平成29年4月以降）：4件

(2) 事業管理機関の継続

ア アルミ難加工材・テーパ管の一体成形加工技術の開発

研究機関：鈴寛(株)（浜松市南区）、静岡大学

実施期間：平成27年度～29年度（3年目）

補助金交付確定額：20,522,168 円

イ 農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発

研究機関：静岡製機(株)（袋井市）、静岡大学、静岡県工業技術研究所

実施期間：平成28年度～30年度（2年目）

補助金交付確定額：28,575,795 円

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成28年度*1	平成29年度*2	平成29年度
サポイン提案支援件数	3件	3件	3件
サポイン提案採択件数	1件	1件	1件
サポイン継続案件事業管理業務	2件	2件	2件
企業訪問数	—	2社	2社

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

【年度総括】

平成29年度は、新規案件としてサポイン事業に申請した1件が採択を受け、交付申請・交付決定を経て、研究開発に着手した。継続案件2件は、平成29年度補助事

業の交付決定を受け、順調に研究開発を推進した。3事業の事業管理機関として、それぞれの開発目標を達成することができた。

平成30年度も、補助金獲得セミナー等で相談を受けた地域企業の申請サポートを実施していく。

19 競争的資金等獲得支援事業

決算額 1,680,972 円（予算額 2,175 千円）〈県補助・8市町負担金〉

【目的】

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）をはじめ、国、県、市町の各種競争的資金の獲得を支援することで、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を促進する。また、競争的資金獲得の有効性や支援制度を効果的に PR するため支援施策ガイドブックを作成し情報発信を行う。

【実施内容】

サポイン、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を目指す中小企業を支援するため、セミナーや個別相談会を開催した。また、各種補助金等の支援制度や競争的資金獲得による成果事例等を発信するガイドブックを作成した。

(1) ものづくり企業のための補助金獲得セミナー

開催日：平成29年4月18日（火）

会場：浜松商工会議所会館

内容：経済産業省に関わる補助金等施策制度紹介

静岡県産業振興財団の施策制度紹介

浜松地域イノベーション推進機構の補助金紹介

浜松市の施策制度紹介

磐田市の施策制度紹介

浜松商工会議所の施策紹介

受講料：〔県西部地域〕無料、〔県西部地域外〕1,000円

参加者：77社98名（定員：80名、申込：119名）

〔県西部地域〕企業75社93名、行政・産業支援機関7機関8名

〔県西部地域外〕企業2社5名、行政・産業支援機関2機関3名

個別相談会：10社

(2) ものづくり企業のための補助金獲得セミナー

開催日：平成30年2月6日（火）

会場：グランドホテル浜松

内容：サポイン制度の紹介

経産省の来年度予算の説明

浜松地域イノベーション推進機構の補助金獲得支援制度紹介

講演「元気をだせ！日本の中小企業」

政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏

受講料：〔県西部地域〕無料、〔県西部地域外〕1,000円

参加者：65社76名（定員：60名、申込：79名）

〔県西部地域〕企業60社71名、行政・産業支援機関10機関12名

〔県西部地域外〕企業5社5名、行政・産業支援機関2機関2名

個別相談会：13社

(3) 支援施策ガイド 2017 制作

〈浜松版〉

発行日：平成 29 年 4 月 5 日（水）

部 数：3,000 部

規 格：A4 サイズ、28 頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び事業成果事例

増 刷：1,500 部（平成 29 年 7 月）

〈県西部広域版〉

発行日：平成 29 年 4 月 5 日（水）

部 数：2,000 部

規 格：A4 サイズ、16 頁

内 容：財団、経済産業省、県西部 7 市町など（浜松市除く）の支援施策及び事業成果事例

増 刷：1,000 部（平成 29 年 7 月）

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
セミナー等参加企業数	62 社	143 社	30 社
補助金採択支援企業数(サポイン)	3 件	1 件	3 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度当初に、経済産業省、（公財）静岡県産業振興財団、浜松市、磐田市、浜松商工会議所と連携した「ものづくり企業のための補助金獲得セミナー」を実施した。また、セミナー終了後には、個別相談会を開催し、各企業の助成金に対する相談に応じた。今後も、国をはじめとする各機関の施策計画をいち早く収集し、地域企業に対して情報発信を行うとともに、補助金活用を検討する地域企業のサポートを実施していく。

平成 29 年度の支援施策ガイドは、平成 28 年度版の内容をより充実させ、新たな支援機関の情報や地域のマッチング技術商談会、地域金融機関などの情報を追加で掲載した。また、平成 29 年度より財団の新規事業展開としてスタートした広域連携推進事業の一環として、「支援施策ガイド 県西部広域版」を新規で発行し、財団経営 CD 及び行政機関を通じて県西部 8 市町の中小企業へ配布することで、財団の PR を広域的に行った。平成 30 年度も地域企業に対する広報ツールとして活用していく。

20 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,540 円（予算額 500 千円）〈財団自主〉

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活

動計画を実現するため、具体的には拠点長及び事業総括として2名を浜松医科大学内に事務局を置く「医工連携拠点」に派遣し、提案機関の一つとして活動を支援した。

【年度総括】

はままつ医工連携拠点では、平成29年度も事業計画に沿った事業展開を行い、地域企業の事業化に対する取り組みを支援した。また、平成29年12月には「メディカルイノベーションフォーラム2017」を開催し、医療業界におけるイノベーション推進を後押しする講演が行われた。

なお、はままつ医工連携拠点自体の平成29年度の具体的な活動成果及び平成30年度の事業計画などについては、本事業の母体である「はままつ医工連携拠点 事業運営委員会」にて報告される。

2.1 地域産業活性化支援事業

決算額 203,066 円（予算額 1,000 千円）〈財団自主〉

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する浜松市委託事業及び県西部産業支援事業（広域事業）を補完する施策を実施した。

また、わが国の産業や経済構造の急激な環境変化に加えて、多様化する地域経済や地域企業のニーズに迅速かつ効果的に対応する施策を実施及び検証した。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県 IoT 活用研究会連携業務

同研究会は、企業、大学、産業支援機関、行政等が相互に「インダストリー4.0」をはじめとする事業活動におけるIoTの活用に関する情報提供や意見交換、交流の場を設置することにより、「事業活動の連携=つながる」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出に寄与することを目的としている。本機構は、事務局を担う静岡県経済産業部商工局をはじめとする4つの団体のひとつとして、事務局業務をサポートした。

・静岡県 IoT 活用研究会

総会：平成29年6月12日（月）、平成30年3月13日（火）

先進地視察：平成30年度事業で開催調整中

・実践セミナー：平成29年9月8日（金）～9日（土）

・ビジネスマッチング

第1回：平成30年2月23日（金）

・5分科会による研究活動

第1回エネルギーデータ利活用部会：平成29年5月31日（水）

第1回生産効率化・物流効率化分科会：平成29年6月12日（月）

・実証実験：平成30年度開催に向け、会員企業と調整中

※参加企業：須田産業(株)（浜松市中区）

・IoT利活用セミナー（2回） ※未実施

・物流効率化部会 ※未実施

イ 海外経済交流推進事業

浜松市、ジェトロ浜松、浜松商工会議所と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に対して負担金を支払い、また、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出
平成 27 年度：500 千円、平成 28 年度：300 千円、平成 29 年度：100 千円
- ・海外経済交流推進協議会：平成 29 年 4 月 20 日（木）、9 月 7 日（木）
- ・投資環境セミナー（ベトナム、インドネシア、タイ、フィリピン）
- ・セミナー、意見交換会及び交流会（ハノイ、ジャカルタ、バンコク）
- ・展示商談会への出展（バンコク）
- ・投資環境視察ミッション派遣（フィリピン）

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新規事業を実施するとともに、関係機関との連携を強化した。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

国等の動向及び地域経済や地域企業のニーズに対応する迅速かつ効果的な支援施策するため、各機関との連携を密に情報収集を行った。

また、次年度の新規支援施策の有効性を検証しつつ、浜松市委託事業及び広域事業へのステップアップ事業を検討した。

【年度総括】

平成 29 年度の「静岡県 IoT 活用研究会」については、適宜連携を図って地域企業（県西部地域製造業者）への還元策を検討した。併せて、静岡県及び静岡県産業振興財団と連携しながら各種事業のサポートを実施した。

また、浜松市海外経済交流推進事業に対しては、第 1 四半期に負担金を交付し、浜松市内中小企業の「海外ビジネス展開」の側面支援を継続的に行った。

平成 30 年度に向けては、国をはじめとした行政機関や支援機関等の産業支援動向をいち早くつかみつつ迅速に対応し、必要に応じてトライアル事業を実施しながら、新規事業展開につなげて行く。

7【拓く】販路開拓支援

22 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 11,455,441 円（予算額 11,281 千円）〈浜松市委託〉

【目的】

浜松市において製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（予算 9,000 千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業者に対し、出展に要する経費の一部を補助金として助成した。助成額は、国内で開催される展示商談会の場合 20 万円、海外で開催される展示商談会の場合 50 万円を上限とし、補助対象経費総額の 2 分の 1 以内とした。

なお、2 者以上の企業が同一展示商談会に隣接出展する場合は上限額を 5 割り増しとした。また、国内外の特定の展示商談会に出展する場合は、3 年連続での出展補助を可能とし、販路開拓による成果の向上に繋げた。

公募期間：[1 次] 平成 29 年 4 月 17 日（月）～5 月 31 日（水）

[2 次] 平成 29 年 6 月 26 日（月）から随時募集

※平成 29 年 6 月 30 日（金）で公募終了

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者。又は、上記に該当するものを 1 者以上含み、研究開発を目的に 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）・500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費など

事業期間：平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

補 助 額：8,518,000 円（予算 9,000,000 円）

ア 国内 [1 次]

申請件数 : 28 件

採択件数 : 28 件

交付決定額：5,321,000 円（28 件）

交付確定額：5,073,000 円（28 件）

[2 次]

申請件数 : 2 件

採択件数 : 2 件

交付決定額：381,000 円（2 件）

交付確定額：381,000 円（2 件）

< 交付企業一覧 >

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	株浜松クオンタム (浜松市北区)	OPIE'17	14,000
2	遠州工業株 (浜松市南区)	INTER MOLD 2017	197,000
3	株桜井製作所 (浜松市東区)	名古屋ものづくりワールド 2017	200,000
4	鈴木晒整理株 (浜松市中区)	Premium Textile Japan 2018 Spring/Summer	200,000
5	株ハブ (浜松市中区)	第8回 教育 IT ソリューション EXPO	173,000
6	杉田工業株 (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜	126,000
7	ソフトウェアス株 (浜松市中区)	人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜	120,000
8	株ジャパン・ミヤキ (浜松市東区)	人とくるまのテクノロジー展 2017 横浜	200,000
9	株ジーアクト (浜松市浜北区)	第8回 医療機器 開発・製 造展	200,000
10	株ミヤキ (浜松市西区)	第21回 機械要素技術展	116,000
11	株エコム (浜松市北区)	THERMOTEC 2017	200,000
12	株サイト (浜松市西区)	九州グランドフェア 2017	200,000
13	株ヤマテ工業 (浜松市南区)	AUTO MOBILE COUNCIL 2017	106,000
14	株栄商会 (浜松市東区)	東京インターナショナルギフ トショー 秋 2017	200,000
15	株エム・エス・ケー (浜松市浜北区)	中小企業テクノフェア in 九州 2017	278,000
16	株内山刃物 (浜松市中区)	メカトロテックジャパン 2017	200,000
17	株小林ダイヤ (浜松市東区)	メカトロテックジャパン 2017	200,000
18	株東洋鉄工所 (浜松市東区)	日本木工機械展 ウッドエコテ ック 2017	200,000
19	株カタナコーポレーショ ン (浜松市北区)	組込み総合技術展 2017	200,000
20	株ファームファクトリー (浜松市南区)	新価値創造展 2017	186,000
21	フルテック株 (浜松市中区)	2017 洗浄総合展	157,000

22	富士工業(株) (浜松市南区)	計測展 2017 TOKYO	200,000
23	株浅沼技研 (浜松市西区)	第10回 オートモーティブワールド	200,000
24	株エヌエステイー (浜松市北区)	第10回 オートモーティブワールド	200,000
25	ヘルツ電子(株) (浜松市北区)	第2回 スマート工場 EXPO	200,000
26	有伊東産業 (浜松市中区)	ENEX 2018	200,000
27	株イケヤ製作所 (浜松市東区)	第13回 先端表面技術展「ASTEC2018」	200,000
28	株アールテック (浜松市東区)	第48回 日本心臓血管外科学会学術総会	200,000
2次	企業名	展示商談会	交付確定額
29	株アルファプロジェクト (浜松市東区)	組込み総合技術展 2017	200,000
30	有鈴上電気 (浜松市西区)	新価値創造展 2017	181,000

イ 海外 [1次]

申請件数 : 5件
 採択件数 : 5件
 交付決定額 : 2,245,000円 (5件)
 交付確定額 : 2,114,000円 (5件)

[2次]

申請件数 : 3件
 採択件数 : 3件
 交付決定額 : 1,450,000円 (3件)
 交付確定額 : 950,000円 (2件) ※1件出展中止

<交付企業一覧>

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	マッキンリーネクスト(株) (浜松市北区)	第22回 中国国際キッチン&バス設備展覧会	236,000
2	東亜工業(株) (浜松市北区)	Food Expo 2017	500,000
3	東海楽器製造(株) (浜松市南区)	ミュージックチャイナ 2017	500,000
4	沢根スプリング(株) (浜松市南区)	Medical Design & Manufacturing WEST 2018	500,000
5	シナジーオプトシステムズ(株) (浜松市西区)	OFC 2018 (2018 Optical Networking and Communication Conference & Exhibition)	378,000円

2次	企業名	展示商談会	交付確定額
6	(株)イエロースタジオ (浜松市東区)	NY NOW Winter 2018	※出展中止
7	QUICCO SOUND(株) (浜松市北区)	The NAMM Show 2018	450,000
8	古橋織布(有) (浜松市西区)	「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2019	500,000

【成果指標】

地域	項目	実績		目標
		平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
国内	①出展社数（報告書受）	31 社	30 社	30 社
	②ブース来場者数	494 名	202 名	—名
	③名刺交換数	103 名	111 名	—名
	④商談件数	15 件	17 件	—件
	⑤商談成立件数	52 件	90 件	50 件
海外	①出展社数（報告書受）	5 社	7 社	4 社
	②ブース来場者数	1,280 名	178 名	—名
	③名刺交換数	33 名	48 名	—名
	④商談件数	5 件	14 件	—件
	⑤商談成立件数	5 件	4 件	4 件

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

※②～④の実績数字は、1 社平均の数字

【年度総括】

平成 29 年度の展示会補助事業は、第 1 四半期 4 月に一次募集、6 月に 2 次募集を行い、申請企業は 38 社（国内 30 社、海外 8 社）と昨年以上の応募があった。ただし、予算総額を若干上回ったため、第 2 四半期に浜松市と予算調整を行い、全 38 社に交付決定を行った。申請企業の増加は、平成 28 年度からスタートさせた企業訪問事業によるきめ細やかな企業訪問や財団施策ガイドの配布による財団支援メニューの PR 成果が公募結果に表れていると考察する。また、平成 29 年度の商談成立件数は昨年度を上回る成果につながった。

平成 30 年度は、販路開拓を積極的に取り組む企業が増えている状況を鑑み、予算を増額し、財団 CD を中心に出展サポート及び出展成果調査を実施して行く。

2.3 販路開拓・マッチング支援事業

決算額 956,697 円（予算額 2,000 千円）〈財団自主〉

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【実施内容】

- (1) 特定メーカー企業向け商談会（浜松商工会議所と連携事業）

浜松地域の主要産業である輸送機器関連分野の受注拡大、更には既存技術の応用による新事業分野への展開に向け、商工会議所との連携により、特定のメーカー企業を対象とした個別商談会を実施し、浜松地域企業の販路開拓及びビジネスマッチングを支援した。

商談相手は自動車関連企業をはじめとする県外の大手メーカーにターゲットを絞る。商談会の開催に当たっては、対象となるメーカー企業の社内または近隣施設での実施を予定し、参加企業は三遠南信地域の企業約 50 社を公募・選考した。

開催日：平成 29 年 11 月 7 日（火）

会 場：(株)小松製作所 小山工場（栃木県小山市）

内 容：コマツ（(株)小松製作所）（東京都港区）とのマッチング技術商談会

連携先：浜松商工会議所、豊橋商工会議所、（公財）南信州・飯田産業センター

出展数：遠州地区 23 社、東三河地区 3 社、南信州地区 2 社

来場数：250 名

成 果：取引成立 2 件（12 千円）、試作依頼 3 件、見積依頼 22 件、後日商談 17 件、名刺交換 521 枚

(2) 浜松地域技術商談会

浜松地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）とその技術を求めるメーカー企業（発注企業）との受発注型のマッチング会を開催し販路拡大を図った。

(3) 浜松地域マッチング技術商談会への出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどを PR する場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチング推進などを行った。

ア 第 11 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2017

開催日：平成 29 年 7 月 19 日（水）～20 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：浜松市新産業創出事業費補助金の成果物、財団事業紹介など

出展者：225 社

来場数：7,500 名（19 日：3,900 名、20 日：3,600 名）

成 果：企業探索 3 件依頼

イ 第 7 回産業振興フェア in いわた 2017

開催日：平成 29 年 9 月 29 日（金）～30 日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

内 容：財団の支援成果を中心とした PR ブースを設営

出展社：180 社

来場数：5,100 名（29 日：2,700 名、30 日：2,400 名）

ウ 第 5 回湖西 Neo テクノフェア 2017

開催日：平成 29 年 11 月 22 日（水）～23 日（木）

会 場：湖西市アメニティプラザ

内 容：財団の支援成果を中心とした PR ブースを設営

出展数：81 社

来場数：2,068 名（22 日：969 名、23 日：1,099 名）

エ 第 4 回浜名チャレンジマッチングフェア

開催日：平成 29 年 12 月 7 日（木）

会 場：浜名湖ロイヤルホテル
内 容：財団の支援成果を中心とした PR ブースを設営
出展数：53 社
来場数：400 名

(4) 販路開拓・マッチング支援事業

輸送機器関連分野のみならず、様々な産業の大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと浜松地域の中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する商談会などを開催した。

ア ダイキン工業(株) (滋賀県草津市)

開催日：平成 29 年 7 月 26 日 (水)
会 場：オークラアクトシティ浜松
内 容：ニーズ説明会 (空調機器、材料加工技術、計測センシング技術など)
※浜松にて説明会を開催し、地域企業との個別面談を経てエントリー
受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円
参加者：30 社 41 名 (定員：100 名、申込：41 名)
[県西部地域] 企業 29 社 40 名、行政・産業支援機関 0 機関 0 名
[県西部地域外] 企業 1 社 1 名、行政・産業支援機関 0 機関 0 名
エントリー社数：11 社 ※平成 29 年 8 月 9 日 (水)
面談社数：9 社 ※平成 29 年 9 月 13 日 (水)
成 果：4 社商談成立、売上金額約 100 万円 (1 件)
(株)美浜工業 (浜松市浜北区)、イノベティブデザイン&テクノロジー(株)
(浜松市浜北区)、サンワ化学(株) (袋井市)、ワッティー(株)浜松事業所 (浜松市中区)

イ 日清紡メカトロニクス(株) (愛知県岡崎市)

開催日：平成 29 年 11 月 25 日 (土)
会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 会議室
内 容：サプライヤー募集
※技術ニーズに対して、地域企業がエントリーし、個別面談
面談社：5 社
崇和(株) (浜松市西区)、(有)土屋技研 (浜松市西区)、(有)新村工業所 (浜松市西区)、神谷商事(株) (磐田市)
※(有)市野製作所 (浜松市東区) は後日面談
成 果：2 社商談成立、売上金額約 85 万円
崇和(株)、(有)新村工業所 ※各社部品 2 点受注

ウ (株)日立パワーソリューションズ (茨城県日立市) ※HPS

開催日：平成 29 年 6 月 7 日 (水)
会 場：日立パワーソリューションズ 合瀬事業所
内 容：技術ニーズに対して、財団が地域企業をマッチング
成 果：①地域中小企業 3 社が HPS へ出向き面談 (平成 29 年 6 月 7 日 (水))
②HPS が浜松企業 2 社を視察し面談 (平成 29 年 6 月 22 日 (木))
取引は成立していないが、将来的なビジネスパートナー候補となった。

エ M 社 (東京都渋谷区)

開催日：平成 29 年 6 月 26 日 (月)
会 場：M 社

内 容：技術ニーズに対して、財団が地域企業をマッチング
 成 果：M社と財団で守秘義務契約締結（平成29年8月3日付）
 継続的にニーズ収集を行い、地域企業とのマッチングを推進している。

オ (株)IHI（東京都江東区）

開催日：平成30年度予定

※技術商談会・ニーズ説明会開催打合せ（平成29年12月22日（金）ほか）

※技術商談会：平成30年6月21日（木）～22日（金）《予定》

ニーズ説明会：平成30年8～9月開催《予定》

カ その他、販路開拓に係るマッチング事業は随時対応

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
①「大手メーカー技術商談会」出展社数	38社	22社	40社
②「大手メーカー技術商談会」商談成立件数	1件	2件	5件
③「浜松地域技術商談会」商談成立件数	4件	5件	3件

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

※①②は大手メーカー技術商談会（浜松商工会議所連携事業）

③は浜松地域技術商談会の指標

【年度総括】

平成29年度は、販路開拓及びマッチング支援に注力して事業展開を図るため、第1四半期には関係各所（大手メーカー、行政機関、支援機関など）へ積極的にコンタクトを取り、大手企業向け技術商談会をはじめ、財団PRを兼ねた浜松地域での技術商談会開催に向けた下準備を行った。第2四半期には、ビジネスマッチングフェア（浜松信用金庫主催）等の地域で開催される技術商談会に参加し、財団及びフォトンバレーセンターのPRを地域企業に向け行った。

また、平成29年7月には、大手メーカー（ダイキン工業株）のニーズ説明会を浜松市内で開催し、地域企業30社が参加。9月には、その内9社がダイキン工業株と個別面談を実施し、1件約100万円の売上げにつながった。引き続き、ダイキン工業株と地域企業のマッチング（取引開始）につなげるためのフォローアップ支援を実施してく。

第3四半期には、財団PRを目的に地域支援機関等が実施する技術商談会への参加をはじめ、平成29年11月には、大手メーカー（株）小松製作所との技術商談会、浜松地域技術商談会（日清紡メカトロニクス株）などを財団主催で開催し、地域企業と大手メーカーとのマッチングを成立させることができた。

平成30年度は、マッチング事業を財団の中核事業として推進し、地域企業の販路開拓及び新事業展開につながるマッチング機会の創出に向け、各種技術商談会の開催していく。

2.4 海外ビジネス展開支援事業

決算額 1,957,328円（予算額 1,965千円）〈浜松市委託〉

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性を拡張する。

【実施内容】

(1) 海外展開事業化可能性調査費補助金（海外 FS 補助金）

浜松市内の中小企業者が、技術や製品の強みを核にアジア地域等への海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して補助金を交付した。

公募期間：平成 29 年 4 月 17 日（月）～5 月 31 日（水）

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者 2 者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 500 千円

対象経費：国内外において実施する調査委託費用・専門家への相談費用など

申請件数：8 件

採択件数：4 件

事業期間：交付決定後～平成 30 年 2 月 28 日（水）

交付決定額：1,726,000 円（4 件）

交付確定額：1,726,000 円（4 件）

<交付企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	(有)コスモグリーン庭好（浜松市南区）	確定額	500,000
	[対象国] 台湾			
	[内 容] 海外拠点設立に向けた市場調査			
	[成果と今後] 海外拠点設立にはかなりの費用が掛かることが判明したため、加工品の消費者ニーズの深掘りと、最適な拠点設立形態（テナント・駅コンコース・路面店等）の精査を行い、平成 31 年度を目途に進出できるよう検討を進める。			
2	企業名	(株)マルマツ（浜松市西区）	確定額	500,000
	[対象国] アメリカ			
	[内 容] 餃子の海外販路開拓に向けた市場調査			
	[成果と今後] 現地の一般消費者の嗜好や価格感が判明した。反面、FDA や FSMA など法規制を乗り越える必要があることも分かったため、有力な販売代理店又は卸売業者を選定し、海外展開を進める。			
3	企業名	(株)JOIN（浜松市北区）	確定額	226,000
	[対象国] アメリカ			
	[内 容] 食品添加物不使用のトマトジュースの海外販路開拓に向けた市場調査			
	[成果と今後] 現地消費者の嗜好や価格感を調査し、パッケージの改善や表記、販売価格に課題があることが判明した。平成 32 年度の進出を目指し、課題の解消に取り組んでいく。			
4	企業名	(株)ブルーニングハーツ（浜松市浜北区）	確定額	500,000
	[対象国] マルタ共和国（欧州）			
	[内 容] 自社独自開発ルアーの海外販路開拓に向けた市場調査			
	[成果と今後] 現地での地元住民、観光客の釣法のトレンド、効果的な販売促進方法が把握できた。今後は、釣法のトレンドの変化に合わせた商品選定、店頭価格を抑えるための方法を検討し、平成 30 年度を目途に海外展			

開を進める。	
計	1,726,000

(2) アセアンレンタルオフィス賃借費補助金

浜松市内の中小企業者が、海外ビジネス展開を図るため、海外における製造・販売などの事業拠点の新設準備に際し、アセアン地域でオフィスをレンタルすることに対して補助金を交付した。

公募期間：[随時]平成 29 年 4 月 3 日（月）から随時募集

※平成 29 年 9 月 13 日（水）で公募終了

対 象：市内に本社機能を有する中小企業者

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 300 千円 ※1 か月最大 5 万円で最長 6 か月分

対象経費：①レンタルオフィス賃借費、②レンタルオフィスに付随するサービスのうち賃借費に含まれるもの（備品利用料、共有スペース利用料、光熱水費・電話回線利用料など）

申請件数：1 件

採択件数：1 件

事業期間：交付決定後～最長 6 か月間

交付決定額：231,000 円（1 件）

交付確定額：231,000 円（1 件）

<交付企業一覧> (単位：円)

1	企業名	(有)クロマニヨン（浜松市中区）	確定額	231,000
	[対象国]	カンボジア		
	[目 的]	現地法人設立		
	[成果と今後]	新規事業に必要なライセンス取得など事業開始準備を行い、平成 30 年 2 月 21 日に現地法人を設立した。平成 30 年 3 月 31 日を目標に操業を開始し、日本国内の事業サポートを実施するとともに、新規事業の展開を図る。		
計				231,000

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
海外 F/S 補助金提案採択件数	9 件	4 件	10 件
レンタルオフィス補助金提案採択件数	—	1 件	1 件
企業訪問数	—	3 社	10 社

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度の海外 FS 補助金は、8 件の申請があり、採択は 4 件にとどまった。要因としては、海外 FS 事業の趣旨が正確に地域企業に理解されていないことが企業ヒアリングにより判明した。これを受け、平成 30 年度は、海外展開を図る上で必要な調査事項等について周知を図るセミナーを開催する予定である。また、企業にとってより効果的な調査が実施できるように企業訪問等でフォローアップを行い、当地域の海外展開を目指す中小企業に対する総合的な支援体制の確立を目指す。

平成 28 年度から創設した「アセアンレンタルオフィス賃借費補助金」については、

平成 29 年度初めての申請、採択（1 件）となった。その結果、現地法人を平成 30 年 2 月に設立し、3 月末から操業開始の運びとなった。今後もスムーズに現地での事業展開ができるよう、関係機関と連携しながらフォローアップを実施して行く。

2 5 地場産業振興事業

予算額 7,439,887 円（予算額 8,560 千円）〈財団自主〉

【目的】

繊維製品の普及、拡大を図るための各種見本市への出展支援や、二輪車製造業及びオートバイ文化の振興を目的とした、「バイクのふるさと浜松」開催にかかる事務局運営を行い、浜松地域の地場産業の振興を図る。

【実施内容】

(1) 繊維製品の普及拡大

静岡県、浜松市等との共催により、繊維製品の普及拡大のため以下の事業についての開催支援を行った。

ア ハママツ・コレクション事業

(ア) 高機能素材ワールド

開催日：平成 29 年 4 月 5 日（水）～7 日（金）

会 場：東京ビックサイト（東京都江東区）

内 容：高機能繊維（CFRP など）の用途開発を推進する展示商談会

出展社数：1 社 サカイ産業㈱（島田市）

来場者数：468 名

取引依頼件数：6 件

(イ) プレミアムテキスタイルジャパン

会 場：東京国際フォーラム

内 容：浜松テキスタイルを国内外の繊維関係者に PR する展示商談会

<2018 Spring/Summer>

開催日：平成 29 年 5 月 9 日（火）～10 日（水）

出展社数：3 社（有）コヤマインターナショナル（浜松市中区）、

山崎テキスタイル㈱（浜松市中区）、古橋織布有（浜松市西区）

来場者数：668 名

サンプル依頼件数：2,028 件

<2018 Autumn/Winter>

開催日：平成 29 年 11 月 28 日（火）～29 日（水）

出展社数：2 社 古橋織布有（浜松市西区）、日本形染（浜松市中区）

来場者数：225 名

サンプル依頼件数：788 件

(ウ) 東京インターナショナル・ギフトショー秋 2017（ギフト国際見本市）

開催日：平成 29 年 9 月 6 日（水）～8 日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展社数：1 組合 1 社 遠州織物工業協同組合（古橋織布有、杉浦テキスタイル㈱、辻村染織有）、㈱タケミクロス（浜松市北区）

来場者数：244 名

サンプル依頼件数：302 件

東京インターナショナル・ギフトショー春 2018（ギフト国際見本市）

開催日：平成 30 年 2 月 7 日（水）～9 日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展社数：1 組合 1 社 遠州織物工業協同組合（滝本織布(有)、杉浦テキスタイル(株)、辻村染織(有)、(有)マサル織布、高柳ウィービング）、(株)タケミクロス

来場者数：152 名

サンプル依頼件数：133 件

(エ) 遠州織物コレクションの開催

県繊維協会傘下の企業及び組合が、専門のコーディネーター及びデザイナーと協働して、高品質の商品を開発し、東京において展示、商談を行う産地単独展示商談会「遠州織物コレクション」を組合と一体となって開催した

開催日：平成 30 年 2 月 22 日（木）～23 日（金）

会 場：文化ファッションインキュベーション（東京都渋谷区）

出展社数：2 組合 12 社（遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合）

来場者数：161 名

サンプル依頼件数：405 件

イ ゆかた振興事業

「注染・ゆかた・和装展」の開催

開催日：平成 29 年 7 月 1 日（土）～2 日（日）

会 場：ギャラリーモールソラモ

内 容：注染・ゆかた・和装製品の展示・発表、浜松注染の実演・体験、浜松工業技術支援センター成果発表

来場者数：1,300 名

ウ 新製品展示紹介事業

(ア) 福岡ギフトショー

開催日：平成 29 年 6 月 1 日（木）～3 日（土）

会 場：マリンメッセ福岡

内 容：高付加価値製品や機能加工製品の展示・商談

出展社数：4 社

古橋織布(有)（浜松市西区）、(有)マサル織布（浜松市浜北区）、杉浦テキスタイル(株)（浜松市東区）、(株)二橋染工（浜松市中区）

来場者数：53 名

取引依頼件数：9 件

(イ) 綿の産地フェアの開催

開催日：平成 29 年 10 月 7 日（土）

会 場：浜松市総合産業展示館 3 組合 13 企業

内 容：地産地消のモデル事業として、地域住民を対象とした、遠州産地の新製品・特化製品の展示・販売を行い、PR を図った。またアンケート調査も実施した。

来場者数：1,900 名

エ マーケティング支援事業

新商品をTN展に出展し、地元や県内外の消費者を対象とした自らの企画による展示・求評会を開催し、新製品に関する評価を得て、ビジネスチャンスの拡大を図った。

(ア) TN Japan 東京展

開催日：平成 29 年 10 月 12 日（木）～13 日（金）

会 場：文化ファッションインキュベーション（東京都渋谷区）

内 容：薄地の独特の風合いを持った高密度織物（1社）、先染織物シャツ地を出展（1社）

出展社数：2社

古橋織布(有)（浜松市西区）、杉浦テキスタイル(株)（浜松市東区）

来場者数：133名

サンプル依頼件数：290件

(イ) 展示・求評会

①開催日：平成 29 年 5 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：any

開催日：平成 29 年 10 月 2 日（月）～ 12 月 28 日（木）

会 場：谷島屋（メイワン店、静岡パルシェ店）

出展社：(有)ぬくもり工房（浜松市浜北区）

来場者数：多数

サンプル依頼件数：15件

②開催日：平成 29 年 12 月 4 日（月）～25 日（月）

会 場：浜北商工会展示ブース

出展社：(有)マサル織布（浜松市浜北区）

来場者数：60名

取引依頼件数：8件

③開催日：平成 29 年 12 月 7 日（木）

会 場：葵東公民館

出展社：滝本織布(有)（浜松市浜北区）

来場者数：80名

取引依頼件数：3件

④開催日：平成 29 年 10 月 8 日（日）、22 日（日）、11 月 12 日（日）、26 日（日）、12 月 10 日（日）24 日（日）の計 6 回開催

会 場：ファブリック鈴忠工房

出展社：ファブリック鈴忠（浜松市東区）

来場者数：155名

取引依頼件数：27件

⑤開催日：平成 29 年 12 月 15 日（金）～17 日（日）

会 場：L&R 店舗

出展者：(株)タケミクロス

来場者数：38名

取引依頼件数：17件

オ 浜松シティファッションコンペ

1次審査：平成 29 年 9 月 12 日（火）

最終審査：平成 29 年 12 月 17 日（日）

会 場：クリエート浜松ホール

内 容 : 浜松地域の綿関連素材を用いた作品づくりを通じて、次世代を担うクリエイターと繊維業界との有機的な関係を構築すると共に、綿織物産地「浜松」の情報を広く発信し繊維産業の振興を図った。全国からデザイン画 3,302 点の応募が寄せられ、そのうちデザイナー等による第一次審査を通過したデザイン画 20 点を衣装化し、プロのモデルが着用したモデルウォーキングで審査を行った。素材については、産地企業 20 社の協力があり、綿素材の産地浜松をアピールした。

来場者数 : 250 名

カ 地場産業の振興・発信事業

繊維産業、ゆかた産業の振興を目的にゆかた着付けを実施した。

・「ゆかたでくるくる」

開催日 : ①平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~3 日 (木)

②平成 29 年 8 月 5 日 (土) ~6 日 (日)

場 所 : ①浜松七夕ゆかたまつり浜松バル (any、肴町公会堂)

②浜松七夕ゆかたまつり (any)

内 容 : ゆかた着付け

着付け人数 : 95 人

・「ゆかた展示」

開催日 : 平成 29 年 7 月 1 日 (土) ~8 月 31 日 (木)

場 所 : 市内ホテルロビー

内 容 : ゆかた展示及びフロント女性社員 2 名の注染ゆかたの着用

(2) 「バイクのふるさと浜松 2017」の事務局運営

オートバイの魅力や文化の発信等を目的とする「バイクのふるさと浜松」の事務局運営を担い、イベント開催に向け関係機関との調整や実行委員会を開催した。

ア 「バイクのふるさと浜松 2017」プレイベント in イオン市野店

開催日 : 平成 29 年 7 月 22 日 (土)

会 場 : イオン市野店

内 容 : バイクのふるさと浜松 2017 の告知、最新モデルの展示、ゆるキャラステージイベント等

来場者数 : 3,000 名

イ 「バイクのふるさと浜松 2017」

開催日 : 平成 29 年 8 月 26 日 (土) ~27 日 (日)

会 場 : 浜松市総合産業展示館

内 容 : 交通安全宣言パレードラン、最新モデルの展示、バイク販売店コーナー、子ども向けエンジン始動体験、ステージイベント、トライアルデモンストレーション等

来場者数 : 23,000 名

ウ 「浜名湖虹色フェスタ 2017」

開催日 : 平成 29 年 11 月 18 日 (土)

会 場 : 交通教育センターレインボー浜名湖

内 容 : ゆるキャラ撮影会コーナーを設け、バイクのふるさと浜松 2018 の PR 及びバイクの街・浜松を PR した。

来場者数 : 265 名

【成果指標】

項目	実績		目標
	平成 28 年度※1	平成 29 年度※2	平成 29 年度
繊維関連展示会のサンプル依頼件数 ※3	858 件	3,662 件	2,000 件
バイクのふるさと来場者数	22,500 名	23,000 名	24,500 名

※1：平成 29 年 3 月末日時点、※2：平成 30 年 3 月末日時点

※3：プレミアムテキスタイルジャパンとギフトショー、遠州織物コレクションの数値合計

【年度総括】

繊維産業の振興事業として、ターゲット（来場者）を明確に絞った首都圏の展示会出展支援によりサンプル依頼が増加し、今後の成約につながる活動ができた。また、浜松地域においては、「浜松シティファッションコンペ」「注染・ゆかた・和装展」等の開催を支援し、遠州繊維産地をPRした。

「バイクのふるさと浜松 2017」については、新たな取り組みとしてプレイベントを実施したことで、集客数の増につながった。

平成 30 年度をもって、当事業の財源となる地場産業振興基金が枯渇するため、平成 31 年度以降の地場産業振興事業を関係機関と協議・検討する。

8【創る】フォトンバレーセンター

26 フォトンバレープロジェクト推進事業

決算額 90,168,020 円（予算額 102,070 千円）＜県・3市負担金＞

決算額 9,661,885 円（予算額 20,812 千円）＜国補助＞

決算額 12,983,550 円（予算額 17,993 千円）＜国委託＞

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

【実施内容】

フォトンバレーセンターでは、平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間において推進した「文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム」の成果を継承し、引き続き大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

また、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援する体制の構築を進めた。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実績）

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
16	452	49	278	79	17	92	983

・技術分野別件数

次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	光・電子	その他	合計
38	24	5	5	8	5	12	—	8	777	101	983

・地区別支援・相談件数

西部								中部 東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町			
738	40	5	17	12	9	—	5	59	98	983

イ 参入啓発セミナー

企業における既存事業の課題解決及び新規事業開発に向け、光・電子技術の導入を促すことを目的に、技術の有用性や有望性を啓発するセミナーを実施した。

光・電子技術の利活用セミナーin 湖西

開催日：平成 29 年 6 月 28 日（水）

会場：湖西地域職業訓練センター

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／光を活用した製品検査の事例紹介

講師／パナソニック(株) (大阪府門真市) 榎 俊晴 氏

③演題／レーザー加工の事例紹介

講師／(株)レーザックス (愛知県知立市) 小澤 健治 氏

参加者：45名 (定員：50名)

光・電子技術の利活用セミナーin 浜松

開催日：平成29年7月6日(木)

会場：アクトシティ浜松

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／レーザー加工の事例紹介

講師／(株)レーザックス 近藤 剛 氏

③演題／光センサーによる製造の自動化

講師／パナソニック(株) 榎 俊晴 氏

参加者：35名 (定員：70名)

光・電子技術の利活用セミナーin 磐田

開催日：平成29年7月25日(火)

会場：磐田市立豊田図書館

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／光を利用した計測・検査の基礎知識

講師／光産業創成大学院大学 石井 勝弘 氏

③演題／3D レーザーセンサー技術の体操採点支援への適用

講師／富士通(株) (東京都港区)

スポーツ・文化イベントビジネス推進本部

ICT 応用デザイン部長 内藤 宏久 氏

参加者：39名 (定員：50名)

光・電子技術の利活用セミナーin 袋井

開催日：平成30年2月23日(金)

会場：袋井商工会議所

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／光センサーによる製造ラインの活用事例

講師／パナソニック(株) 榎 俊晴 氏

③演題／製造現場における IoT の活用事例

講師／エンシュウ(株) (浜松市南区) 原 淳記 氏

参加者：21名 (定員：50名)

ものづくり企業向け 即！実践できる IoT 活用セミナー

開催日：平成30年1月24日(水)

会場：グランドホテル浜松

内容：①フォトンバレーセンターの紹介

②演題／IoT が中小企業にもたらすもの

～最新技術が地方の産地を変える～

講師／(一社)クラウドサービス推進機構 理事長 松島 桂樹 氏

③演題／YOKOGAWA が実践する IoT の展開と最新事例のご紹介

講師／横河ソリューションサービス株式会社 (東京都武蔵野市)

ソリューションビジネス本部

インダストリアルソリューションセンター長兼 IoT 推進室
栗原 勝 氏

参加者：75名（定員：80名）

IoT と LoRaWAN を学ぶビジネスセミナー

開催日：平成 30 年 3 月 15 日（木）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内 容：①演題／長距離/省電力を実現する LPWA の最新動向と IIJ が取り組む IoT

講師／(株)インターネットイニシアティブ（東京都千代田区）

ネットワーク本部 IoT 基盤開発部長 齋藤 透 氏

②演題／セムテックが推進する LoRa テクノロジー

講師／セムテック・ジャパン合同会社（東京都品川区）

フィールドアプリケーションエンジニア部長 宮畑 勝則 氏

③演題／中小企業や農業での LoRaWAN・IoT 活用事例

講師／(株)トゥモローズ（千葉県我孫子市） 代表取締役 堀 明人 氏

参加者：37名（定員：30名）

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

東京や大阪などの大都市で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
10月4日（水）～6日（金） （インテックス大阪）	関西ものづくりワールド 2017 第 20 回機械要素技術展（M-Tech）	4 社
1月17日（水）～19日（金） （東京ビッグサイト）	ネプコンジャパン 2018 第 47 回インターネプコンジャパン	4 社

イ 広報発信

①広報媒体の作成

フォトンバレーセンターの事業や活動内容等を効果的に情報発信するツールとして、パンフレット発行やホームページ構築をはじめ、ロゴマーク及びロゴタイプを制作した。また、ロゴマーク及びロゴタイプ制作にあたっては、浜松地域においてデザイン学部を有する静岡文化芸術大学（学生）に依頼した。

a パンフレット

発行時期：平成 29 年 6 月・平成 29 年 11 月

発行部数：2,000 部・3,000 部（計 5,000 部）

b ホームページ

開設時期：平成 29 年 11 月

アドレス：<https://www.hai.or.jp/pvc/>

c ロゴマーク及びロゴタイプ

依頼先：公立大学法人 静岡文化芸術大学

スケジュール：平成 29 年 8 月 10 日（木） 委託契約締結

平成 30 年 3 月 26 日（月） デザイン完成・納品

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取組及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するた

め、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展した。

第11回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2017

期 日：平成29年7月19日（水）～20日（木）

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

第7回産業振興フェア in いわた 2017

期 日：平成29年9月29日（金）～30日（土）

会 場：磐田市アミューズ豊田

第5回湖西 Neo テクノフェア 2017

期 日：平成29年11月22日（水）～23日（木）

会 場：湖西市アメニティプラザ

第4回浜名チャレンジマッチングフェア

期 日：平成29年12月7日（木）

会 場：浜名湖ロイヤルホテル

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

レーザー光源の技術進展に伴い、新たな加工技術が活用される中において、多くの企業がレーザー加工の最適な条件設定が課題となっている。その課題に寄与するセミナーを開催することで、企業が抱える課題解決につなげて行く。

※光産業創成大学院大学へ業務委託

第1回光を利用したものづくりに関するセミナー

開催日：平成29年8月4日（金）

会 場：サーラシティ浜松

内 容：演題／マイクロチップレーザーの特徴と応用

講師／分子科学研究所 准教授 平等 拓範 氏

演題／ファイバ結合型青色レーザー（BLUEIMPACT）の特徴とその応用について

講師／㈱島津製作所（京都市中京区） デバイス部 諏訪 雅也 氏

参加者：96名（定員：60名）

第2回光を利用したものづくりに関するセミナー

開催日：平成29年11月9日（木）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

内 容：演題／タグチメソッド全体像、ロバストネスの評価と最適化、
ロバストネスの最適化事例

※自動車産業を中心としたレーザー加工の適用事例など

講師／光産業創成大学院大学 客員教授 兼

(有)アイテックインターナショナル（愛知県名古屋市）

顧問 田口 伸 氏

講師／光産業創成大学院大学 客員教授 兼

レーザー加工学会副会長 森 清和 氏 ※元日産自動車㈱

参加者：111名（定員：100名）

エ 健康医療分野のセミナー

はままつ医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナー（全5回）を実施した。

薬機法入門編セミナー「薬機法の概要」

開催日：平成 29 年 9 月 15 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター 52 研修交流室

講 師：OGY メディカルデバイスソリューションズ(株)（東京都八王子市）

代表取締役 荻生 久夫 氏

参加者：36 名（定員：30 名）

※会場及び講師は全回共通

医療機器分野参入セミナー1「医療機器分野参入方法について」

開催日：平成 29 年 10 月 20 日（金）

参加者：28 名（定員：30 名）

薬機法実践編セミナー1「品質マネジメントシステム構築について」

開催日：平成 29 年 11 月 10 日（金）

参加者：40 名（定員：30 名）

医療機器分野参入セミナー2「リスクマネジメントについて」

開催日：平成 29 年 12 月 15 日（金）

参加者：44 名（定員：30 名）

薬機法実践編セミナー2

「医療機器認証申請の申請書作成のポイントとノウハウの紹介」

開催日：平成 30 年 2 月 16 日（金）

参加者：24 名（定員：30 名）

オ ビジネスプロデューサー養成ワークショップ

地域産業の強化に向けた地域中小企業の基幹人材育成事業として、顧客視点から事業構想を創り上げ、実現に必要な資源を調達・活用することで、強い意志で遂行する力を有するビジネスプロデューサーの養成を行った。

※地域イノベーション戦略支援プログラム（浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション）にて光産業創成大学院大学がプログラム開発を進めていた人材育成事業「VIPS」をフォトンバレーセンターにて継承し実施した。

<キックオフセミナー>

開催日：平成 29 年 9 月 14 日（木）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内 容：企業の経営者層向けに、従業員のワークショップへの参加を促すことを目的としたセミナー

第 1 部 次代を築く人材をつくる

基調講演／「モノづくりの街、浜松が求めるビジネス人材」

講師／浜松市長 鈴木 康友 氏

特別講演／私の「人づくりの考え方と進め方」

講師／元松下電器産業(株) 人材開発カンパニー 社長

元財団法人松下政経塾 北市 哲郎 氏

第 2 部 衆知を集める

提言／「ビジネス実践に必要なヒト、必要なコト」

講師／リンクウィズ(株)（浜松市中区）

代表取締役 吹野 豪 氏

事業紹介／「ビジネスプロデューサー養成ワークショップの概要」

説明者／フォトンバレーセンター コーディネーター 鈴木 正
参加者：129名（定員：100名）

<ワークショップ>

開催日：平成29年10月6日（金）～平成30年1月26日（金）（全8回）

会場：アクトシティ浜松 ほか

内容：個々の課題への対応を考えるワークを通じて、事業をプロデュースする（自身の課題や部門の課題への対応を考える）には、何が必要なのかを肌で体験し、自身のマインド・行動変革に繋げることを主眼においたワークショップ

参加者：15名（定員：21名）

<ゼミナール>

開催日：平成29年4月～平成30年3月（全14回）

会場：アクトシティ浜松 ほか

内容：過去の人材育成事業「VIPS」の修了者を対象としたフォローアップやネットワークづくりの支援のほか、各回ワークショップの翌日に、前日のワークショップに関する補講等

対象者：ワークショップ参加者等

<成果発表会>

開催日：平成30年2月2日（金）

会場：静岡大学浜松キャンパス S-Port 大会議室

内容：参加者が所属する企業の上司や経営者等に対する発表の場（ワークショップのなかで身に着けた知識や気付きなどを、伝えるというスキルをもって成果を報告する）。

対象者：ワークショップ参加者等

修了者：受講生15名中12名

(3) 技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を新たに活用し製品開発に向けた試作品の製作や既存事業への光・電子技術の導入に対する補助事業を実施した。

<説明会>

日時：平成29年6月8日（木）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：25名（定員：35名）

ア 新規参入製品開発補助金（光・電子技術活用促進事業費補助金）

公募期間：平成29年6月12日（月）～7月13日（木）

対象：光・電子分野に新規参入し、製品開発を目指す中小企業者等

補助率：1/2

補助額：上限2,000千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

申請件数：5件

採択件数：5件

事業期間：交付決定後～平成 30 年 2 月 28 日（水）

交付決定額：8,202,510 円（5 件）

交付確定額：6,382,008 円（5 件）

< 交付企業一覧 >

（単位：円）

1	企業名	アツミ工業(株) (浜松市西区)	確定額	1,943,185
	[内容] 光・電子技術を利用した水温・水流・プランクトンセンサーの開発 [成果と今後] 計測モジュールを制作し、浜名湖のデータ（水温・水流・プランクトン）のリアルタイム配信システムを開発した。今後は、受信したデータを WEB 配信するソフトウェアの開発を進める。			
2	企業名	(有)静岡フスマ商会 (磐田市)	確定額	976,300
	[内容] 家屋の開口枠のサイズを高精度・高スピードで計測する「ピタ測くん™」の開発 [成果と今後] 一次試作品の課題解決のため、高精度のレーザー距離計を採用することにより、距離精度や読み取り時間の短縮等を実現できた。今後は、計測方法の最適化を目指すとともに、その手法の関連特許、または実用新案化の調査を実施する。			
3	企業名	GEE(株) (浜松市西区)	確定額	766,287
	[内容] 3次元表示分析装置研究開発 [成果と今後] 自動車のヘッドアップディスプレイ用の3次元表示分析装置のシステムを構築できた。今後は、測定方法を確立するとともに、知的財産権の取得を目指す。			
4	企業名	互大商工(株) (浜松市南区)	確定額	846,700
	[内容] エンジンシリンダ内壁欠陥の自動検出装置開発試作 [成果と今後] エンジン内径部分のキズやクラック等を検出する技術を確立し、試験機を完成できた。今後は、市場への展開を見据え、さらに性能向上に努める。			
5	企業名	(株)ホバリング (浜松市中区)	確定額	1,849,536
	[内容] ドローン空中写真測量における光レーザーセンサー内蔵型対空標識の開発 [成果と今後] 高出力の光レーザーセンサーを内蔵した対空標識と遠隔モニタの試作品を完成できた。現在、約 20m の高度まで検知できるが、今後は、50m 程度まで検知できるよう性能の向上及び小型化に取り組む。			
計				6,382,008

イ 既存事業導入補助金

公募期間：平成 29 年 6 月 12 日（月）～7 月 13 日（木）

対 象：既存事業への光・電子技術の導入を目指す中小企業者等

補 助 率：1/2

補 助 額：上限 1,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

申請件数：2 件

採択件数：2 件

事業期間：交付決定後～平成 30 年 2 月 28 日（水）

交付決定額：1,530,700 円（2 件）

交付確定額：1,519,205 円（2 件）

< 交付企業一覧 >

（単位：円）

1	企業名	ノブオ電子(株) (浜松市西区)	確定額	519,205
	[内容] LED スペクトル光源のモジュール化による生産性向上			
[成果] モジュール化のための設計指針に基づき製作した試作機を使い、設計指針の妥当性の検証を行った。モジュール化により、設計時間の短縮と量産における生産性を高めることができた。				
2	企業名	(株)SPLYZA (浜松市中区)	確定額	1,000,000
	[内容] 動画解析による分析情報自動抽出サービス			
[成果] アマチュア向けに、サッカーの動画の共有と分析ができるアプリについて、これまで人手で行っていた情報（コーナーキック等）の抽出を自動でできる機能が完成した。				
計				1,519,205

(4) ACTFAST トライアル事業

研究者等で構成するプロジェクトチームに対し、フォトンバレーセンターが、光・電子応用技術を活用して行う企業の製品化に向けた取組への支援業務を委託した。

公募期間：平成 29 年 11 月 8 日（水）～平成 29 年 11 月 21 日（火）

対 象：プロジェクトチームを所管する大学

- ・ 静岡大学
- ・ 浜松医科大学
- ・ 光産業創生大学院大学
- ・ 静岡理工科大学（フォトンビジョン参画機関）

委託金額：1 プロジェクトあたり上限 300 万円

対象経費：専門家謝金、原材料・部品等購入費、機器設備費、外注委託費、借損料、消耗品費、一般管理費

申請件数：2 件

採択件数：2 件

事業期間：委託契約後～平成 30 年 3 月 15 日（木）

委託金額：5,860,205 円

< 委託事業一覧 >

（単位：円）

1	委託先	静岡大学	支援企業名	(株)Happy Quality (袋井市)	確定額	2,962,039
	[内容] IoT を活用した低カリウムメロン「ドクターメロン®」の生産標準化プロジェクト					
[成果と今後] 低カリウムメロンの生産標準化を目指し、各種センサーから収集した圃場の環境情報を基に標準化指針を設定した。今後さらに、環境情報とともに生育情報を収集し、標準化指針を見直して作業マニュアルを作成する。						
2	委託先	静岡大学	支援企業名	TSK(株) (袋井市)	確定額	2,898,166
	[内容] T S K 電磁誘導加熱装置知的財産権強化プロジェクト					
[成果と今後] 誘導加熱装置 MAGHEAT の技術的課題を明らかにし解決す						

ることを通じて、保有特許の弱点補強のための周辺特許出願戦略を構築した。今後は、対応の必要性や重要度の高い案件から特許出願を進めていく。	
計	5,860,205

(5) 世界的ネットワーク構築支援事業

ア 海外展示会「LASER World of PHOTONICS 2017」ワークショップ参加

交流先であるベルリン地域が「LASER World of PHOTONICS 2017」内で主催したワークショップにおいて、フォトンバレーセンターの取組等についてプレゼンを行った。また、地域企業に対し、同展示会におけるジェトロ浜松ブースへの出展支援を実施した。

イ ドイツ・ベルリン地域への地域企業及び研究機関の紹介

ドイツ・ベルリン地域の浜松訪問時に、「ビジネスマッチングフェア 2017」や地域企業訪問及び大学等の研究者との面談を通して、この地域が持つ技術を理解してもらい、今後の連携について意見交換を行った。

期 日：平成 29 年 7 月 18 日（火）～21 日（金）

来訪者：ベルリンパートナー（ロスラー 氏・サントス 氏）、

OptecBB（ラーチ 氏）、フラウンホーファーHHI（ナワビ 氏）

ウ ドイツ・チューリンゲン州企業とのマッチングイベントの開催

産業交流協定を締結しているドイツ・チューリンゲン州から州経済担当大臣等の政府関係者、並びに企業関係者、計 48 名による浜松への訪問を受け入れた。

その間、県内企業との共同開発や販路開拓等の可能性を探るため、企業・大学訪問、浜松市長表敬訪問、マッチングイベント及びレセプションを開催した。

期 日：平成 29 年 10 月 4 日（水）

マッチングイベント参加者：ドイツ側 36 名、日本側 54 名

エ ドイツ・フラウンホーファー研究機構と共催でセミナーを開催

ドイツ・チューリンゲン州にあるフラウンホーファーIOF 研究所のプロワー氏の来日に合わせ、「ドイツ研究プロジェクト『3Dsensation』セミナー」を開催した。セミナー開催を前に、市内企業の訪問も実施し、プロワー氏からドイツ企業の紹介を受けた。

期 日：平成 29 年 11 月 24 日（金）

来訪者：フラウンホーファーIOF 研究所（プロワー 氏）

フラウンホーファー日本代表部（林田 一浩 氏）

参加者：16 名（定員：30 名）

オ 光・電子技術関連企業へのヒアリング調査

今後の海外における事業展開を検討する上で、企業のニーズや課題等を把握するため、海外取引に興味のある光・電子技術関連企業 14 社を訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 日：平成 29 年 11 月

カ 国内他地域におけるドイツとの連携事業のヒアリング調査

今後の海外における事業展開を検討する上で、国内他地域の取組事例を参考とするため、ドイツ・バーデン・ヴェルテンベルク州の光産業クラスター「Photonics BW」と連携している北九州市を訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 日：平成 29 年 12 月 12 日（火）

対応者：北九州市国際ビジネス政策課 係長 中村 雅弘 氏、中石 早紀 氏
ジェトロ北九州 所長 新井 剛史 氏

(6) 地域中核企業創出支援事業 ※国委託事業

国等の各種競争的資金を活用して、中小企業の新技術開発や経営基盤強化を目的に支援する。

制度名称：平成 29 年度「地域中核企業創出・支援事業」

支援企業：(株)トヨコー（富士市）

事業名称：レーザーによる革新的な塗膜除去装置の事業化促進事業

事業概要：レーザー照射による構造物鋼材の独創的な塗膜除去事業のビジネスモデル構築及び溶接加工表面処理に関する産業用ロボットタイプのレーザー装置の事業化促進を行った。併せて、操作の安全機能の向上、安全規格の検討を進めるとともに標準化事業で検討されたレーザー照射による防錆処理に関する課題の解決を図った。

事業期間：平成 29 年 6 月 1 日（木）から平成 30 年 3 月 30 日（金）

委託金額：12,983,550 円

(7) 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ※国補助事業

平成 28 年 9 月に静岡大学及び浜松市が申請した文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（事業名：光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトリクスの新技術）」が採択された。これを受けて、低侵襲立体内視鏡等の事業化プロジェクト成果の海外展開や新たな産業基盤の構築に向け推進するにあたり、当該プログラムにおける自治体が指定する機関として、マーケティングを専門とするコーディネーターを 1 名配置（国費を活用）することにより連携を図っている。

補助金額：9,661,885 円

(8) 静岡県中小企業制度融資及び新規産業立地事業費補助金

静岡県内に事業所、工場、店舗などがある中小企業者又は静岡県内で事業を始めようとする企業が、成長分野である医療・健康関連産業（ファルマバレー）、食品関連産業（フーズ・サイエンス）、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進した。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

公募期間：平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：13 件 718,980 千円 ※平成 28 年度実績：10 件 1,175,000 千円

イ 新規産業立地事業費補助金

公募期間：平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）

プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

補助実績：4件（延べ29,191.28㎡） ※平成28年度実績：0件

【成果指標】

（支援・相談件数）

支援種別	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
参入啓発	—	16件	10件
製品開発	—	452件	230件
生産性向上	—	49件	30件
販路開拓	—	278件	160件
海外展開	—	79件	60件
人材育成	—	17件	10件
その他	—	92件	50件
合計	—	983件	550件

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

（人材育成事業）

項目	実績		目標
	平成28年度※1	平成29年度※2	平成29年度
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 湖西	—	45名	35名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 浜松	—	35名	35名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 磐田	—	39名	35名
参入啓発セミナー 光・電子技術の利活用セミナーin 袋井	—	21名	35名
ものづくり企業向け 即！実践できるIoT活用セミナー	—	75名	80名
IoT と LoRaWAN を学ぶビジネス セミナー	—	37名	35名
第1回光を利用したものづくりに関 するセミナー	—	96名	60名
第2回光を利用したものづくりに関 するセミナー	—	111名	60名
ビジネスプロデュース力養成ワーク ショップ・キックオフセミナー	—	129名	100名
ビジネスプロデュース力養成ワーク ショップ・ワークショップ	—	15名	20名
合計	—	603名	495名

※1：平成29年3月末日時点、※2：平成30年3月末日時点

【年度総括】

平成 29 年度第 3 四半期までは、光・電子技術分野への参入を促すことを目的に「光・電子技術参入啓発セミナー」を浜松・磐田・湖西市で開催するとともに、「技術活用支援事業（補助金）」の交付決定及び「ビジネスプロデュースカワークショップ」のキックオフセミナー等のフォトンバレーセンター主要事業を実施した。

また、ベルリン地域が来訪するなど、海外クラスター機関との交流活動も活発化してきた。さらに、EU での事例を参考に、光電子応用技術を活用した中小企業支援のための新たな取り組みとして「ACTFAST トライアル事業」を実施した。

第 4 四半期には、「ものづくり企業向け 即！実践できる IoT 活用セミナー」の開催や「ネプコンジャパン」への出展支援等の各種事業を実施するとともに、来年度実施予定のフォトンバレーセンター版 ACTPHAST の施行に向け、ベルギーへの先進調査を実施した。

平成 30 年度は、静岡県・浜松市・静岡大学等との連携の下、フォトンバレーセンター版 ACTPHAST 事業の「産学官金連携課題解決プロジェクト推進事業」を新規に実施するとともに、参入啓発セミナーや展示会出展事業、光・電子技術活用促進事業等を実施していく。

参 考 資 料

表記は全て平成 30 年 3 月 31 日現在

財団の運営

1 基本財産及び基金

(単位：千円)

基本財産・基金 出捐者	基本財産	債務保証基金	計
浜松市	430,000	113,000	543,000 (56.2%)
静岡県	60,000	113,000	173,000 (17.9%)
民間企業等	115,700	134,000	249,700 (25.9%)
計	605,700	360,000	965,700 (100.0%)

2 役員及び委員

(1) 理事・監事（定款第22条）

区 分	氏 名	企 業 名	役 職
理事長	山崎 勝康	天方産業株式会社	常任アドバイザー
専務理事	増田 洋介	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	
理 事	木村 雅和	静岡大学	理事・副学長・イノベーション社会連携推進機構長
〃	島本 誠	ヤマハ発動機株式会社	取締役 上席執行役員 モビリティ技術本部長
〃	仲野 哲央	中部ガス株式会社	執行役員 E&S 本社 経営管理部長 兼 浜松支社長
〃	原 勉	浜松ホトニクス株式会社	常務取締役 中央研究所長
〃	平井 正大	浜松信用金庫	常務理事
〃	藤井 茂樹	ヤマハ株式会社	執行役 IMC 事業本部長
〃	古橋 敏明	一般社団法人静岡県繊維協会	会長
〃	牧田 春光	株式会社河合楽器製作所	取締役 執行役員 素材加工事業統括部長 兼 金属事業部長
〃	山本 清二	浜松医科大学	理事（教育・産学連携担当）・副学長
〃	伊東 幸宏	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	フotonバレーセンター長
監 事	山内 致雄	株式会社電興社	代表取締役社長
〃	中野 純	中野純公認会計士・税理士事務所	所長

(2) 評議員（定款第12条）

区 分	氏 名	企業名	役 職
評議員	石川 晃三	株式会社ソミック石川	代表取締役会長
〃	井上 光輝	豊橋技術科学大学	理事・副学長
〃	大石 勝彦	静岡県経済産業部	商工業局長
〃	加藤 義章	光産業創成大学院大学	学長
〃	小杉 和弘	浜松商工会議所	専務理事・事務局長
〃	佐藤 洋一	浜松市	産業部長
〃	白井 卓也	中部電力株式会社	静岡支店 浜松営業所長
〃	杉田 光秀	株式会社静岡銀行	常務執行役員 西部カンパニー長
〃	野口 博	静岡理工科大学	学長
〃	服部 貴應	株式会社エヌエスティー	代表取締役社長
〃	守田 泰男	遠州信用金庫	理事長

3 会議

(1) 理事会

①平成 29 年度 第 1 回理事会

開催日時 平成 29 年 6 月 13 日 (火) 15:30~17:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 12 名

審議事項 第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告承認の件

第 2 号議案 平成 28 年度 特定資産承認の件

第 3 号議案 平成 28 年度 収支決算承認の件

(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)

第 4 号議案 平成 29 年度 補正予算承認の件

第 5 号議案 規定改正の件

第 6 号議案 第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告第 1 号 理事の辞任に伴う選任について

②平成 29 年度 第 2 回理事会

議決方法 書面決議

議決日 平成 29 年 6 月 29 日 (木)

審議事項 第 1 号議案 代表理事 (理事長) 1 名選定の件

③平成 29 年度 第 3 回理事会

開催日時 平成 29 年 10 月 31 日 (火) 15:30~17:00

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 10 名

審議事項 第 1 号議案 平成 29 年度 収支補正予算承認の件

第 2 号議案 平成 29 年度 第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告第 1 号 平成 29 年度 上半期の職務執行の状況について

報告第 2 号 評議員の辞任について

④平成 29 年度 第 4 回理事会

議決方法 書面決議

議決日 平成 30 年 2 月 13 日 (火)

審議事項 第 1 号議案 第 3 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

⑤平成 29 年度 第 5 回理事会

開催日時 平成 30 年 3 月 1 日 (木) 10:00~11:30

開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

出席者 11 名

審議事項 第1号議案 平成30年度 事業計画について
第2号議案 平成30年度 収支予算について
第3号議案 規定の改正について

(2) 評議員会

①平成29年度 第1回評議員会

開催日時 平成29年6月29日(木) 15:30~17:00
開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
出席者 9名
審議事項 報告第1号 平成28年度 事業報告について
第1号議案 平成28年度 収支決算承認の件
(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)
第2号議案 平成29年度補正予算承認の件
第3号議案 理事の辞任に伴う選任について

②平成29年度 第2回評議員会

開催日時 平成29年11月8日(水) 15:30~17:00
開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
出席者 8名
審議事項 第1号議案 平成29年度 収支補正予算承認の件
報告第1号 平成29年度 上半期の職務執行の状況について
報告第2号 評議員の辞任について

③平成29年度 第3回評議員会

開催日時 平成30年3月1日(木) 15:30~17:00
開催場所 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
出席者 8名
審議事項 第1号議案 平成30年度 事業計画について
第2号議案 平成30年度 収支予算について
第3号議案 規程の改正について

5 賛助会員

企業名	住 所	代表者 等	役 職
日星電気株式会社	浜松市西区大久保町 1509	河野 勝男	代表取締役会長
株式会社呉竹荘	浜松市中区東伊場 1-1-26	山下 智司	代表取締役社長
グランドホテル浜松	浜松市中区東伊場 1-3-1	石川 仁	総支配人
協同組合テクノランド細江	浜松市北区細江町中川 7000-1	山本 純夫	理事長
株式会社平安コーポレーション	浜松市北区新都田 1-5-2	鈴木 通友	代表取締役
パルステック工業株式会社	浜松市北区細江町中川 7000-35	鈴木 幸博	代表取締役社長
株式会社高井製作所	浜松市東区有玉南町 1168	高井 理恵	代表取締役
エンシュウ株式会社	浜松市南区高塚町 4888	土屋 隆史	代表取締役社長
株式会社エヌエスティー	浜松市北区新都田 4-3-1	服部 貴應	代表取締役社長
中野純公認会計士・税理士事務所	磐田市今之浦 4-17-10	中野 純	所長
株式会社ユニバンス	湖西市鷺津 2418	村松 通泰	代表取締役社長
やまと興業株式会社	浜松市浜北区横須賀 1136	小杉 昌弘	代表取締役社長
株式会社電興社	浜松市南区御本町 95	山内 致雄	代表取締役社長
東海電子印刷株式会社	浜松市南区若林 888-122	伊藤 均	代表取締役社長
丸紅株式会社	浜松市中区砂山町 353-8	余部 俊也	浜松支店長
国本工業株式会社	浜松市東区貴平町 320	國本 幸孝	代表取締役社長



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation